

## **第2部 介護保険居宅サービス利用者調査**



## 第2部 介護保険居宅サービス利用者調査

### 1 本人や家族の状況について

#### (1) 調査票の回答者

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

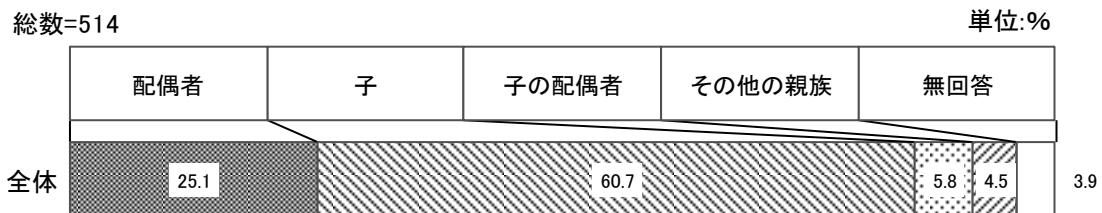
この調査票の記入者は、「ご家族、親族」の割合が60.8%で最も高く、次いで「ご本人」が36.3%となっている。

図表2-1-1 回答者



「ご家族、親族」の内訳は、「子」の割合が60.7%で最も高く、次いで「配偶者」が25.1%、「子の配偶者」が5.8%となっている。

図表2-1-2 回答者「ご家族、親族」の内訳

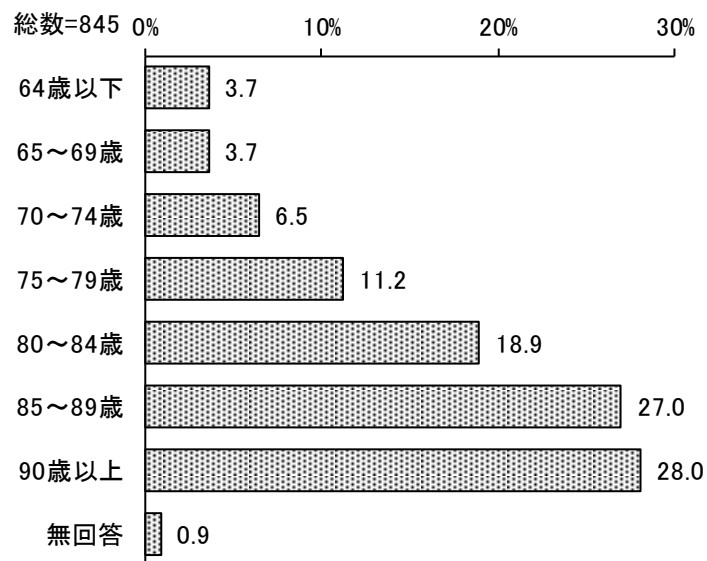


## (2) 年齢

問2 あなたの令和元年10月1日現在の満年齢を教えてください。(〇は1つ)

年齢は、「90歳以上」が28.0%で最も高く、次いで「85～89歳」が27.0%、「80～84歳」が18.9%となっている。64歳以下を除く全体では、前期高齢者(74歳以下)が10.2%、後期高齢者(75歳以上)が85.1%である。

図表2-1-3 年齢



## (3) 性別

問3 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別は、「女性」が65.3%、「男性」33.4%となっている。

図表2-1-4 性別

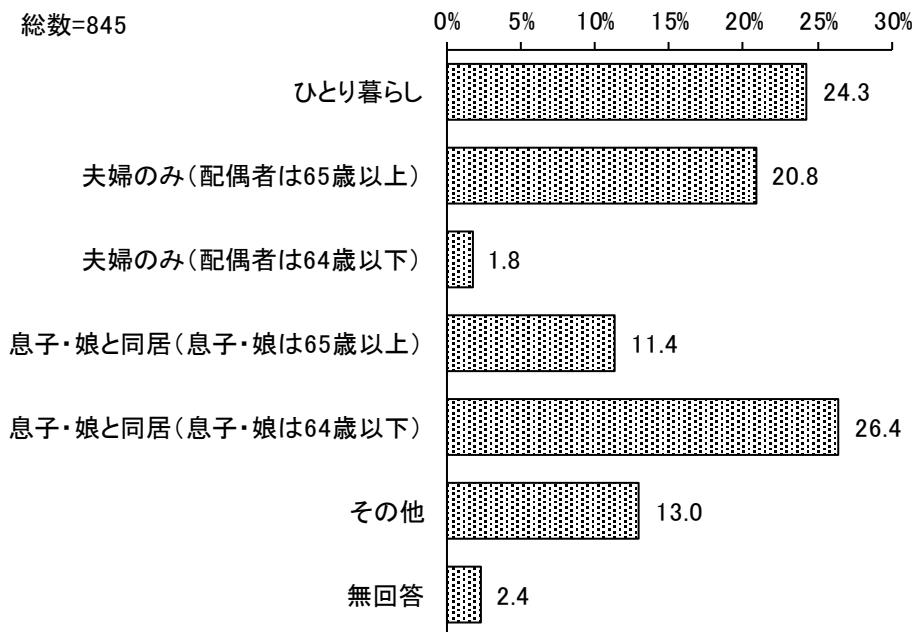


(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成を教えてください。(○は1つ)

家族構成は、「息子・娘と同居(息子・娘は64歳以下)」の割合が26.4%で最も高く、次いで「ひとり暮らし」が24.3%、「夫婦のみ(配偶者は65歳以上)」が20.8%となっている。

図表2-1-5 家族構成



回答者の家族構成を性別でみると、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以下）」を合わせた「夫婦のみ」の合計は、男性41.8%、女性13.2%で男性が大きく上回っている。一方で「ひとり暮らし」は男性18.4%、女性27.4%、「息子・娘と同居（娘・息子は65歳以上）」は男性3.2%、女性15.8%と、それぞれ女性が上回っている。

また、性別・年齢階級別にみると、男性は「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が年代が高くなるにつれて増加していき、最も高い「80～84歳」の54.7%を境に減少に転じる。女性は「70～74歳」を境に「夫婦のみ」の割合が減少していき、一方で「息子・娘と同居」の割合が高くなる。

図表2-1-6 家族構成（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

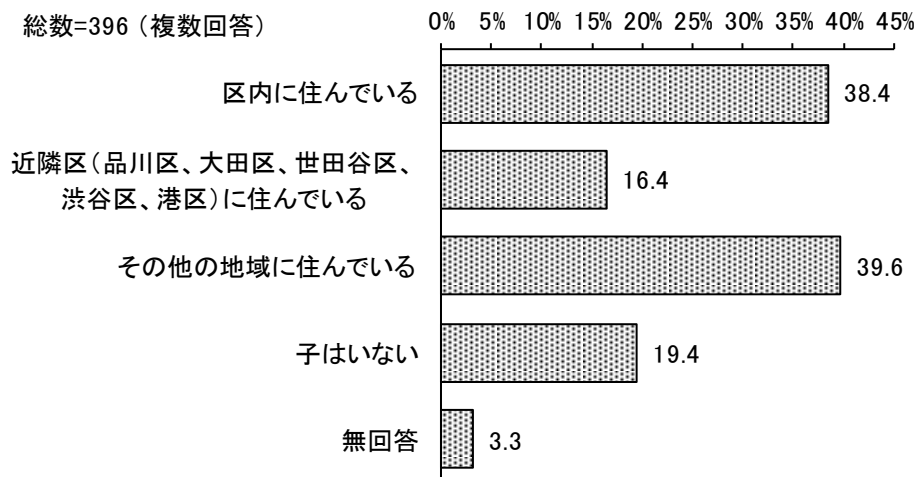
	全体	ひとり暮らし	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	夫婦のみ（配偶者は64歳以下）	息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）	息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）	その他	無回答	
全体	845 100.0	205 24.3	176 20.8	15 1.8	96 11.4	223 26.4	110 13.0	20 2.4	
性別・年齢階級	男性全体	282 100.0	52 18.4	108 38.3	10 3.5	9 3.2	68 24.1	31 11.0	4 1.4
	64歳以下	16 100.0	3 18.8	1 6.3	2 12.5	1 6.3	4 25.0	5 31.3	-
	65～69歳	15 100.0	4 26.7	3 20.0	3 20.0	-	3 20.0	2 13.3	-
	70～74歳	27 100.0	5 18.5	8 29.6	2 7.4	1 3.7	5 18.5	6 22.2	-
	75～79歳	42 100.0	12 28.6	14 33.3	-	1 2.4	10 23.8	3 7.1	2 4.8
	80～84歳	64 100.0	8 12.5	35 54.7	2 3.1	1 1.6	13 20.3	4 6.3	1 1.6
	85～89歳	73 100.0	9 12.3	33 45.2	1 1.4	1 1.4	22 30.1	6 8.2	1 1.4
	90歳以上	45 100.0	11 24.4	14 31.1	-	4 8.9	11 24.4	5 11.1	-
	女性全体	552 100.0	151 27.4	68 12.3	5 0.9	87 15.8	155 28.1	78 14.1	8 1.4
	64歳以下	15 100.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	-	6 40.0	3 20.0	-
	65～69歳	16 100.0	6 37.5	2 12.5	-	-	2 12.5	6 37.5	-
	70～74歳	28 100.0	8 28.6	10 35.7	-	1 3.6	9 32.1	-	-
	75～79歳	53 100.0	14 26.4	16 30.2	1 1.9	1 1.9	13 24.5	8 15.1	-
	80～84歳	95 100.0	28 29.5	18 18.9	1 1.1	4 4.2	32 33.7	10 10.5	2 2.1
	85～89歳	154 100.0	43 27.9	16 10.4	1 0.6	11 7.1	54 35.1	25 16.2	4 2.6
	90歳以上	191 100.0	49 25.7	5 2.6	-	70 36.6	39 20.4	26 13.6	2 1.0
無回答	11 100.0	2 18.2	-	-	-	-	1 9.1	8 72.7	

【問4で「1. ひとり暮らし」「2. 夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」「3. 夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」と回答した方におたずねします。】

問4-1 あなたには、別居しているお子さんはいらっしゃいますか。（〇はいくつでも）

別居している子は、「その他の地域に住んでいる」の割合が39.6%で最も高く、次いで「区内に住んでいる」が38.4%、「子はいない」が19.4%となっている。

図表2-1-7 子の有無と居住地

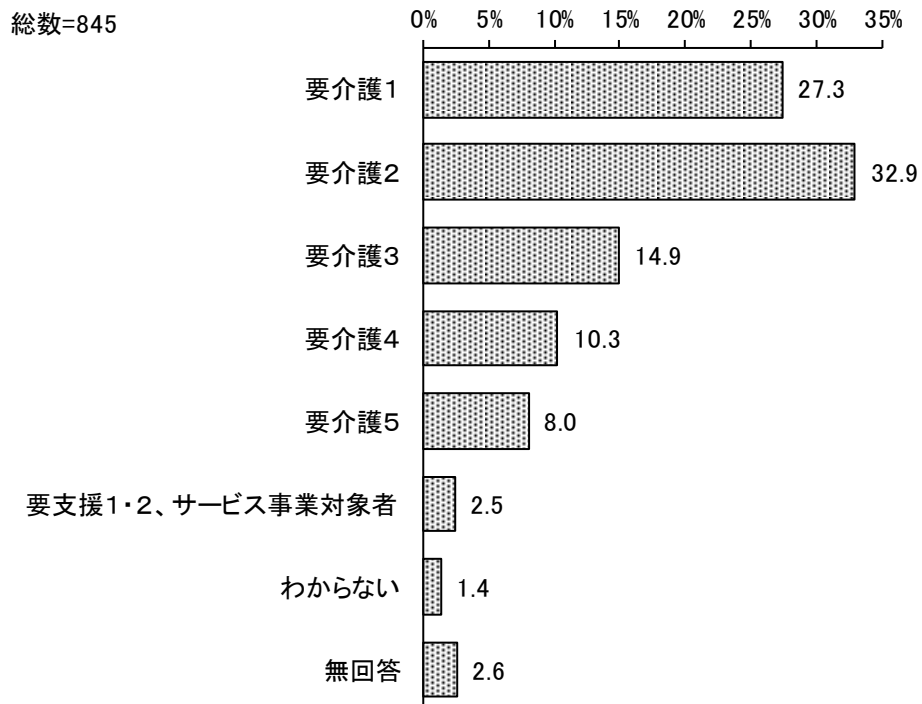


## (5) 要介護度

問5 現在の要介護度を教えてください。(○は1つ)

要介護度は、「要介護2」の割合が32.9%で最も高く、次いで「要介護1」が27.3%、「要介護3」が14.9%となっている。

図表2-1-8 要介護度





要介護度を性別・年齢階級別にみると、各年代とも「要介護1」、「要介護2」の軽度者の割合が高いが、軽度者は「80～84歳」を境に減少に転じ、「要介護3」以上の中重度者が増加していく。

図表2-1-9 要介護度（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

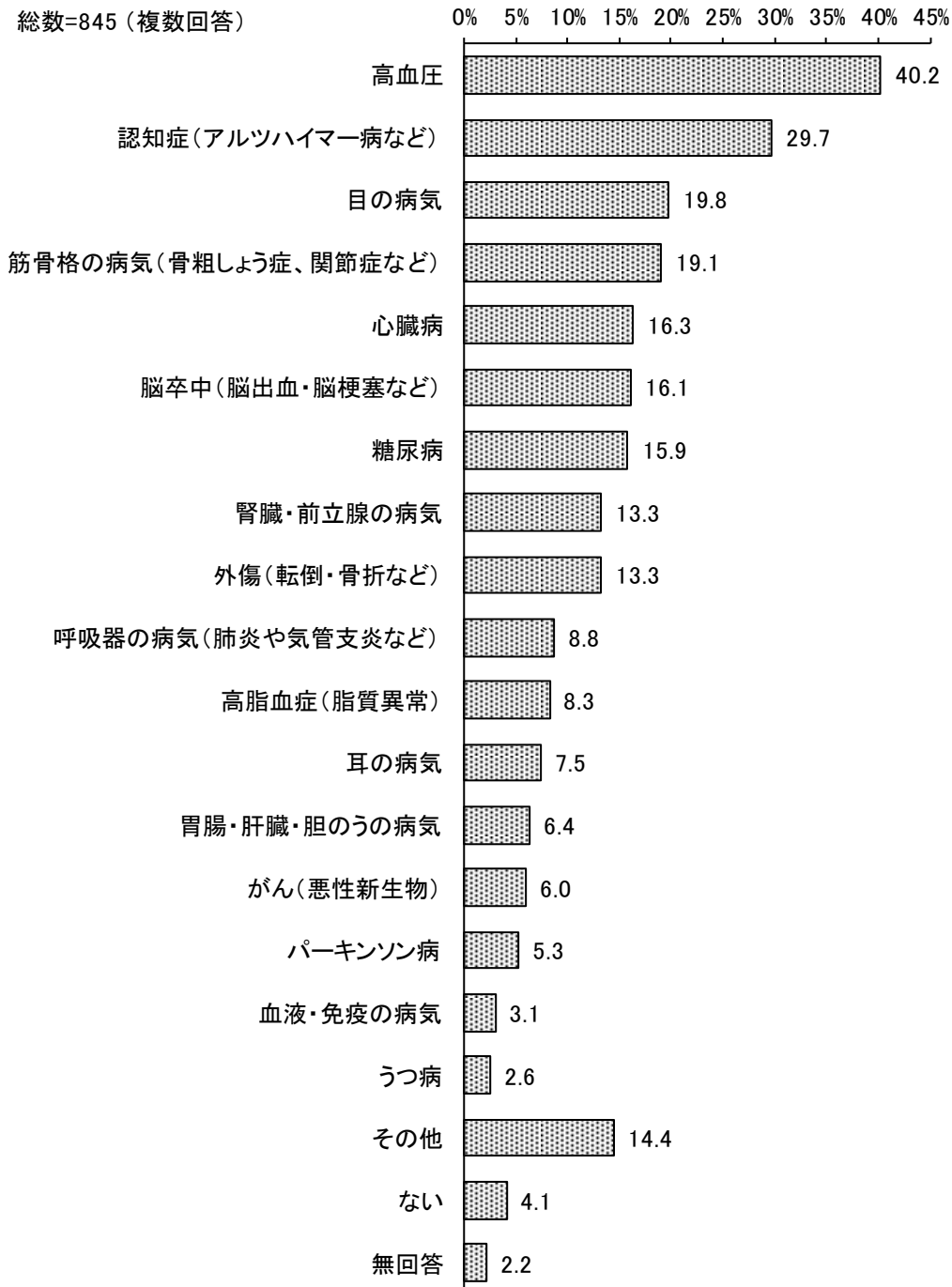
		全体	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1・2、 サービス事業対象者	わからない	無回答
全体		845 100.0	231 27.3	278 32.9	126 14.9	87 10.3	68 8.0	21 2.5	12 1.4	22 2.6
性別・年齢階級	男性全体	282 100.0	79 28.0	103 36.5	44 15.6	26 9.2	18 6.4	3 1.1	5 1.8	4 1.4
	64歳以下	16 100.0	3 18.8	4 25.0	6 37.5	-	3 18.8	-	-	-
	65～69歳	15 100.0	4 26.7	4 26.7	3 20.0	1 6.7	1 6.7	-	2 13.3	-
	70～74歳	27 100.0	7 25.9	9 33.3	5 18.5	2 7.4	2 7.4	-	-	2 7.4
	75～79歳	42 100.0	12 28.6	15 35.7	3 7.1	4 9.5	5 11.9	2 4.8	-	1 2.4
	80～84歳	64 100.0	14 21.9	32 50.0	8 12.5	6 9.4	3 4.7	-	1 1.6	-
	85～89歳	73 100.0	25 34.2	26 35.6	5 6.8	10 13.7	4 5.5	1 1.4	2 2.7	-
	90歳以上	45 100.0	14 31.1	13 28.9	14 31.1	3 6.7	-	-	-	1 2.2
	女性全体	552 100.0	152 27.5	175 31.7	82 14.9	61 11.1	50 9.1	17 3.1	6 1.1	9 1.6
	64歳以下	15 100.0	4 26.7	4 26.7	5 33.3	1 6.7	-	-	-	1 6.7
	65～69歳	16 100.0	4 25.0	5 31.3	2 12.5	1 6.3	3 18.8	1 6.3	-	-
	70～74歳	28 100.0	11 39.3	6 21.4	3 10.7	1 3.6	6 21.4	1 3.6	-	-
	75～79歳	53 100.0	20 37.7	14 26.4	7 13.2	8 15.1	4 7.5	-	-	-
	80～84歳	95 100.0	34 35.8	31 32.6	14 14.7	4 4.2	8 8.4	1 1.1	1 1.1	2 2.1
85～89歳	154 100.0	39 25.3	53 34.4	19 12.3	17 11.0	9 5.8	11 7.1	3 1.9	3 1.9	
90歳以上	191 100.0	40 20.9	62 32.5	32 16.8	29 15.2	20 10.5	3 1.6	2 1.0	3 1.6	
無回答	11 100.0	-	-	-	-	-	1 9.1	1 9.1	9 81.8	

## (6) 疾病の状況

問6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が40.2%で最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病など)」が29.7%、「目の病気」が19.8%となっている。

図表2-1-10 治療中または後遺症のある病気の有無

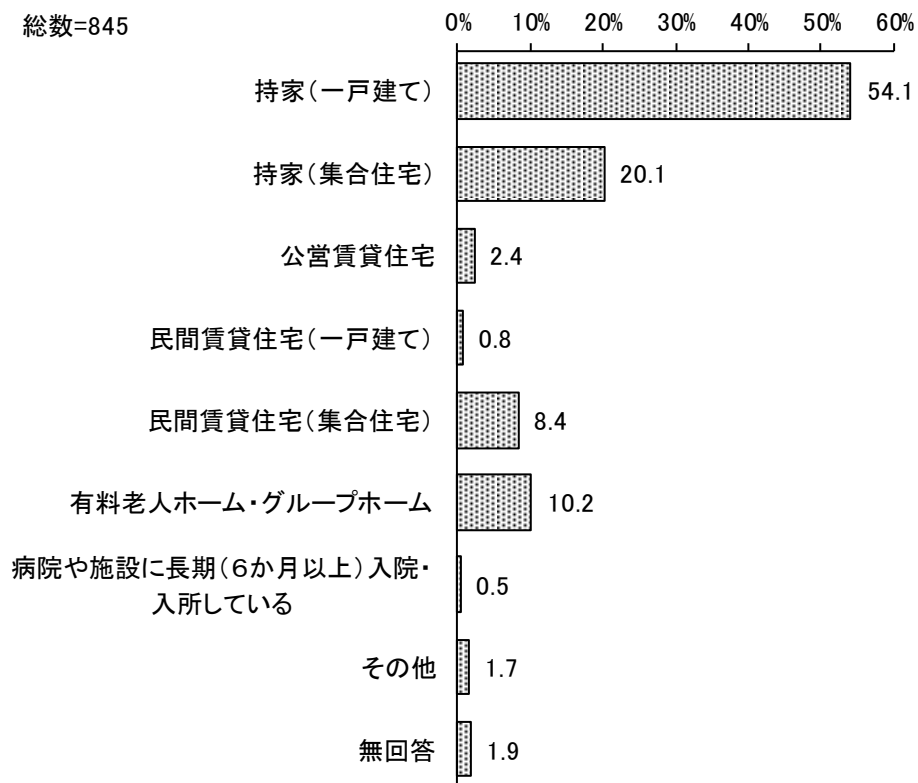


(7) 住まいの種類

問7 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

住まいの種類は、「持家（一戸建て）」の割合が54.1%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が20.1%、「有料老人ホーム・グループホーム」が10.2%となっている。

図表2-1-11 住まいの種類



## (8) 居住地区

問8 あなたは、どの地区にお住まいですか。地区名の番号に○をつけてください。(○は1つ)

回答者の居住地区は、「西部地区」が23.2%で最も高く、「北部地区」が11.2%で最も低い。

図表2-1-12 居住地区



## 2 介護サービスの利用状況および今後の利用意向について

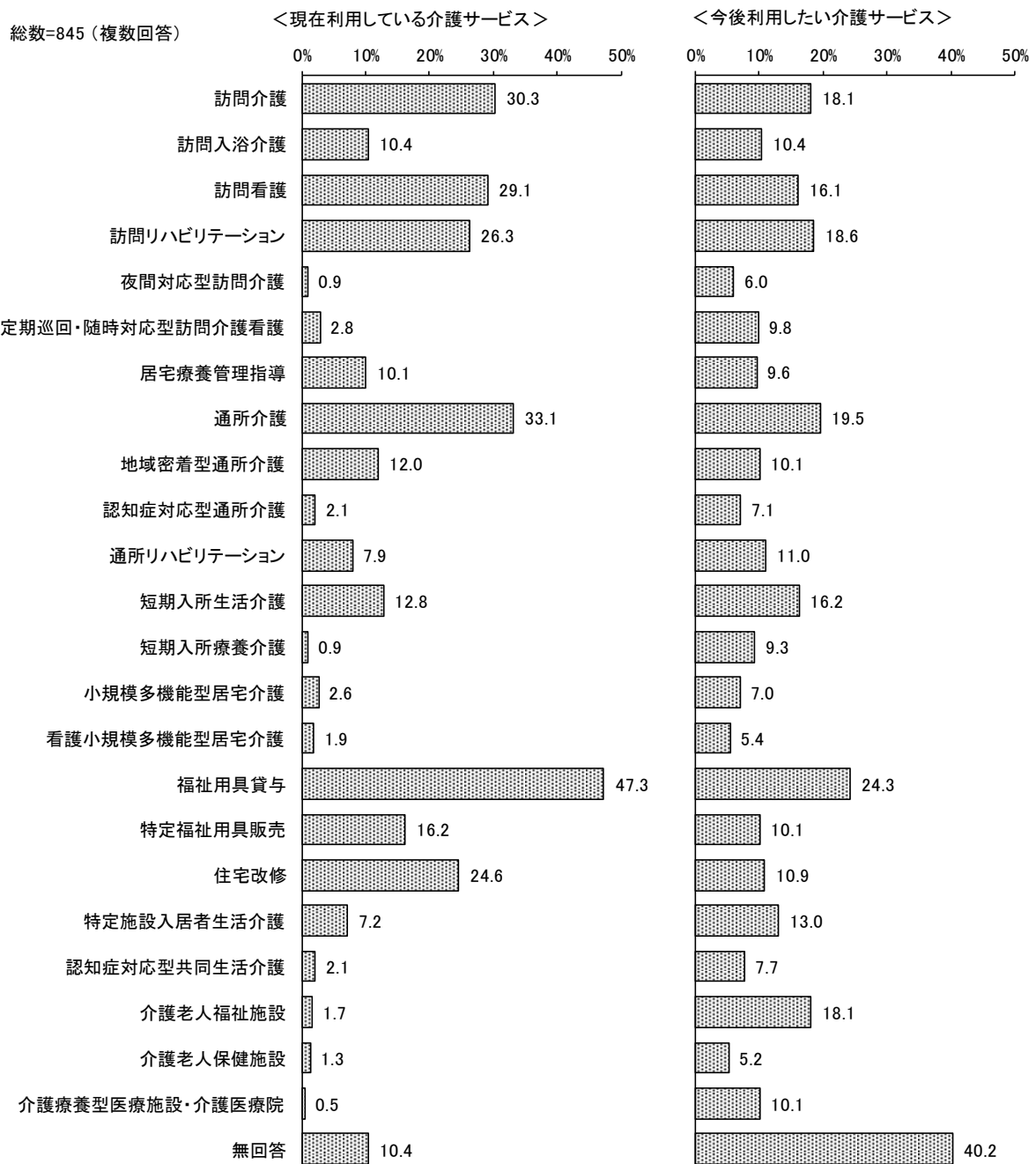
### (1) 介護サービスの利用状況および今後の利用意向

問9 あなたが現在利用している介護サービスと、今後利用したい介護サービスを教えてください。(〇はいくつでも)

現在利用している介護サービスは、「福祉用具貸与」が47.3%で最も高く、次いで「通所介護」が33.1%、「訪問介護」が30.3%となっている。

今後利用したい介護サービスは、「福祉用具貸与」が24.3%で最も高く、次いで「通所介護」が19.5%、「訪問リハビリテーション」が18.6%となっている。

図表2-2-1 介護サービスの現在の利用状況と今後の利用意向

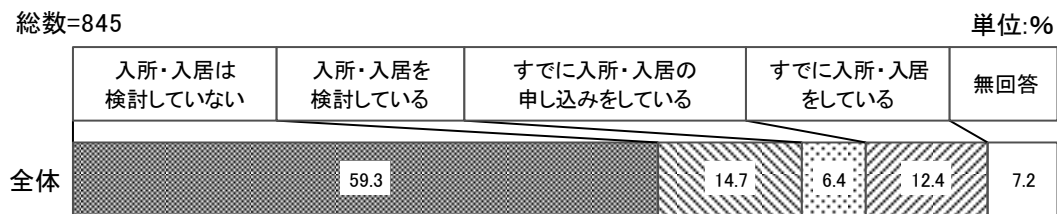


## (2) 施設等への入所・入居の検討状況

問10 現在、施設等への入所・入居を検討していますか。(○は1つ)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」の割合が59.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.7%、「すでに入所・入居をしている」が12.4%となっている。

図表2-2-2 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況を性別・年齢階級別にみると、「入所・入居は検討していない」の割合は全体平均で男性が63.1%、女性が57.8%で男性の方が高い。

また、「入所・入居を検討している」の割合は全体平均では男女とも14%程度であるが、男性は「80～84歳」の21.9%、女性は「75～79歳」の24.5%が前後の年代よりも突出している。

図表2-2-3 施設等への入所・入居の検討状況（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

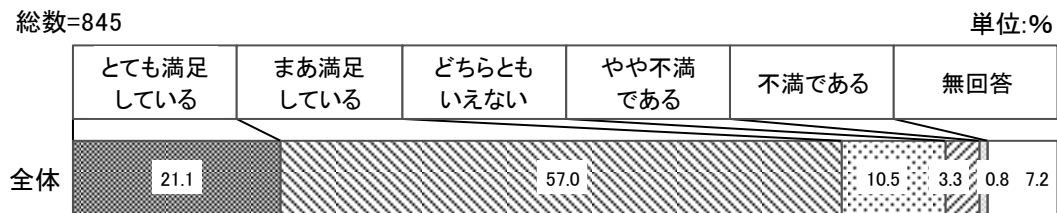
		全体	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居を申し込みをしている	すでに入所・入居をしている	無回答
全体		845 100.0	501 59.3	124 14.7	54 6.4	105 12.4	61 7.2
性別・年齢階級	男性全体	282 100.0	178 63.1	42 14.9	13 4.6	26 9.2	23 8.2
	64歳以下	16 100.0	9 56.3	3 18.8	1 6.3	2 12.5	1 6.3
	65～69歳	15 100.0	10 66.7	2 13.3	1 6.7	-	2 13.3
	70～74歳	27 100.0	21 77.8	2 7.4	1 3.7	1 3.7	2 7.4
	75～79歳	42 100.0	30 71.4	4 9.5	1 2.4	3 7.1	4 9.5
	80～84歳	64 100.0	39 60.9	14 21.9	3 4.7	4 6.3	4 6.3
	85～89歳	73 100.0	46 63.0	7 9.6	4 5.5	8 11.0	8 11.0
	90歳以上	45 100.0	23 51.1	10 22.2	2 4.4	8 17.8	2 4.4
	女性全体	552 100.0	319 57.8	82 14.9	41 7.4	78 14.1	32 5.8
	64歳以下	15 100.0	7 46.7	5 33.3	-	3 20.0	-
	65～69歳	16 100.0	11 68.8	3 18.8	-	1 6.3	1 6.3
	70～74歳	28 100.0	19 67.9	1 3.6	2 7.1	5 17.9	1 3.6
	75～79歳	53 100.0	27 50.9	13 24.5	3 5.7	5 9.4	5 9.4
	80～84歳	95 100.0	61 64.2	10 10.5	8 8.4	9 9.5	7 7.4
85～89歳	154 100.0	85 55.2	28 18.2	11 7.1	23 14.9	7 4.5	
90歳以上	191 100.0	109 57.1	22 11.5	17 8.9	32 16.8	11 5.8	
無回答		11 100.0	4 36.4	-	-	1 9.1	6 54.5

### (3) 介護サービス全般の満足度

問11 利用している介護サービス全般について、満足していますか。(〇は1つ)

利用している介護サービス全般について、「まあ満足している」の割合が57.0%で最も高く、「とても満足している」の21.1%と合わせると、「満足している」と回答した人の割合は78.1%となっている。一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた「不満である」と回答した人の割合は4.1%となっている。

図表 2-2-4 介護サービス全般の満足度





介護サービス全般に対する満足度を、利用している介護サービス別にみると、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足している」と回答した人の割合は、「認知症対応型共同生活介護」が94.4%で最も高く、次いで「認知症対応型通所介護」が88.9%、「短期入所生活介護」が84.2%となっている。

図表2-2-5 介護サービス全般の満足度（利用しているサービス別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

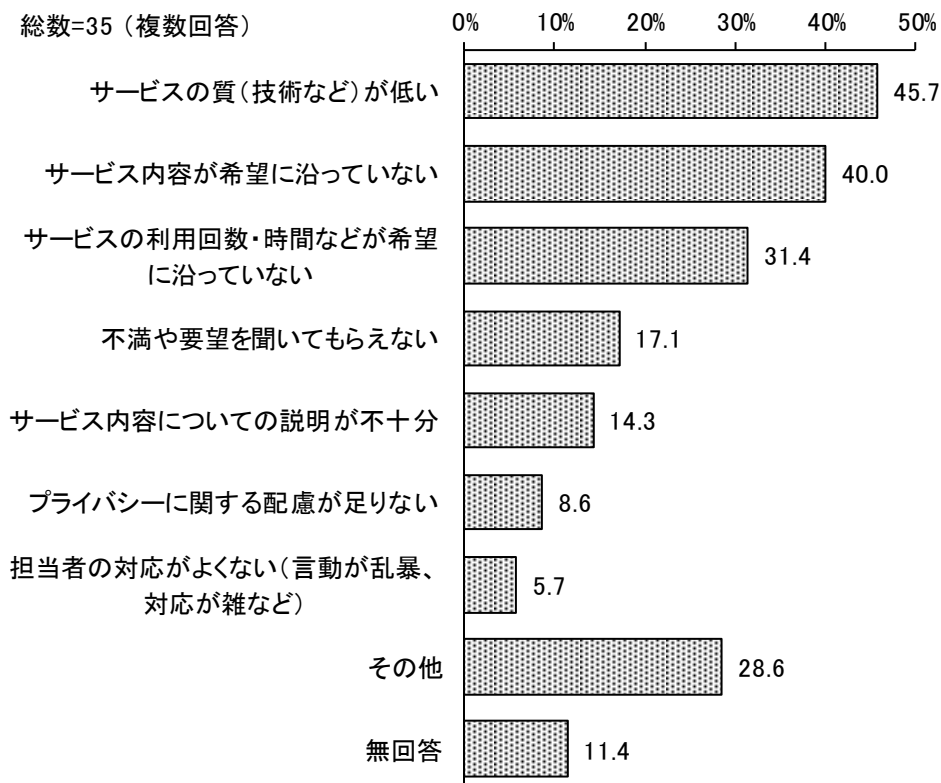
	全体	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	
全体	845 100.0	178 21.1	482 57.0	89 10.5	28 3.3	7 0.8	61 7.2	
利用しているサービス	訪問介護	256 100.0	58 22.7	141 55.1	33 12.9	8 3.1	1 0.4	15 5.9
	訪問入浴介護	88 100.0	15 17.0	54 61.4	8 9.1	5 5.7	1 1.1	5 5.7
	訪問看護	246 100.0	61 24.8	139 56.5	28 11.4	12 4.9	-	6 2.4
	訪問リハビリテーション	222 100.0	47 21.2	130 58.6	23 10.4	9 4.1	2 0.9	11 5.0
	夜間対応型訪問介護	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	24 100.0	4 16.7	14 58.3	4 16.7	1 4.2	-	1 4.2
	居宅療養管理指導	85 100.0	15 17.6	47 55.3	15 17.6	2 2.4	-	6 7.1
	通所介護	280 100.0	65 23.2	165 58.9	27 9.6	7 2.5	4 1.4	12 4.3
	地域密着型通所介護	101 100.0	14 13.9	64 63.4	13 12.9	3 3.0	-	7 6.9
	認知症対応型通所介護	18 100.0	3 16.7	13 72.2	-	1 5.6	-	1 5.6
	通所リハビリテーション	67 100.0	14 20.9	41 61.2	7 10.4	2 3.0	-	3 4.5
	短期入所生活介護	108 100.0	25 23.1	66 61.1	8 7.4	4 3.7	1 0.9	4 3.7
	短期入所療養介護	8 100.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	-	-	1 12.5
	小規模多機能型居宅介護	22 100.0	5 22.7	13 59.1	3 13.6	-	-	1 4.5
	看護小規模多機能型居宅介護	16 100.0	3 18.8	7 43.8	3 18.8	1 6.3	-	2 12.5
	福祉用具貸与	400 100.0	82 20.5	239 59.8	42 10.5	13 3.3	5 1.3	19 4.8
	特定福祉用具販売	137 100.0	24 17.5	87 63.5	16 11.7	2 2.9	4 0.7	5 3.6
	住宅改修	208 100.0	43 20.7	128 61.5	19 9.1	8 3.8	3 1.4	7 3.4
	特定施設入居者生活介護	61 100.0	4 6.6	44 72.1	7 11.5	4 6.6	1 1.6	1 1.6
	認知症対応型共同生活介護	18 100.0	2 11.1	15 83.3	-	1 5.6	-	-
	介護老人福祉施設	14 100.0	4 28.6	7 50.0	2 14.3	-	-	1 7.1
	介護老人保健施設	11 100.0	3 27.3	6 54.5	1 9.1	-	-	1 9.1
	介護療養型医療施設・介護医療院	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	-	-	-
無回答	88 100.0	21 23.9	34 38.6	8 9.1	3 3.4	1 1.1	21 23.9	

【問11で「4. やや不満である」「5. 不満である」と回答した方におたずねします。】

問11-1 どのようなことに不満がありますか。(〇はいくつでも)

利用している介護サービスに対する不満の理由は、「サービスの質(技術など)が低い」が45.7%で最も高く、次いで「サービス内容が希望に沿っていない」が40.0%、「サービスの利用回数・時間などが希望に沿っていない」が31.4%となっている。

図表2-2-6 介護サービスの不満理由

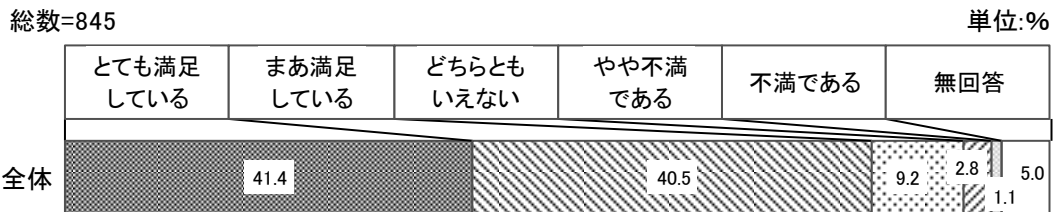


(4) 担当ケアマネジャーの満足度

問12 担当のケアマネジャーの対応について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

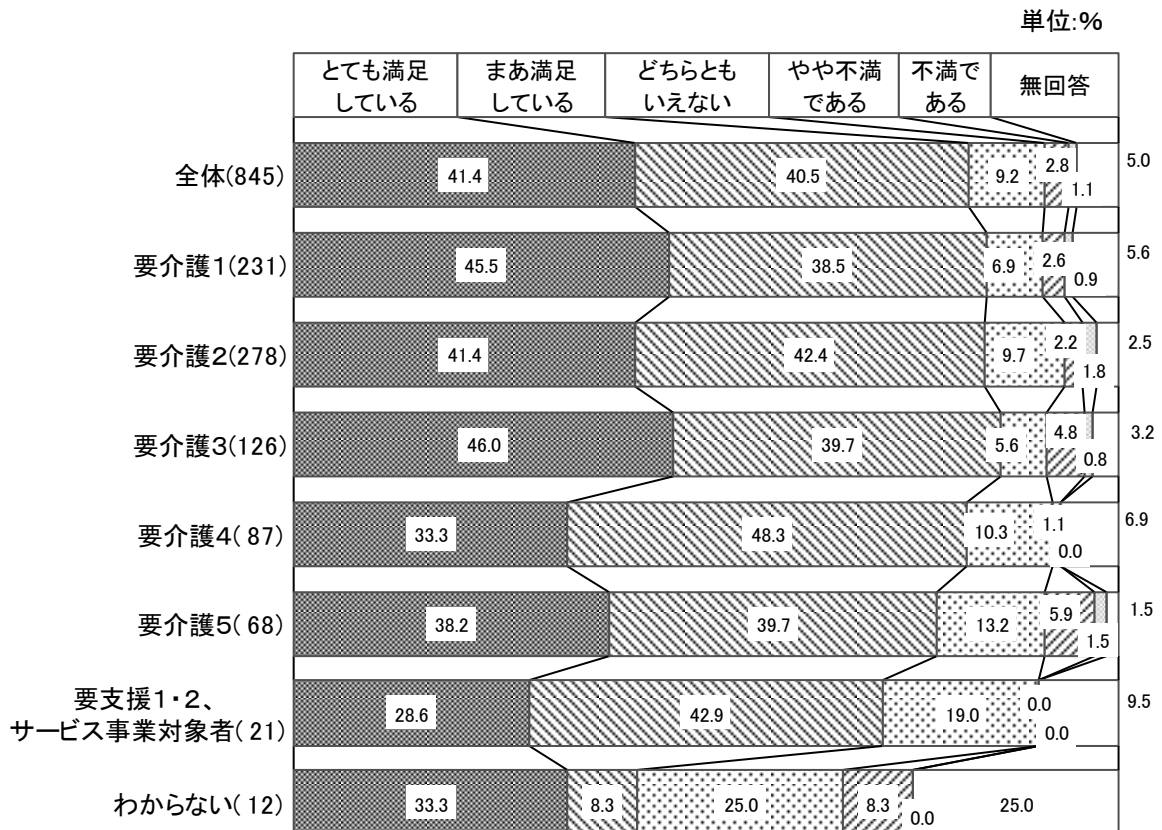
ケアマネジャーの対応については、「とても満足している」の割合が41.4%で最も高く、「まあ満足している」の40.5%と合わせると、「満足している」と回答した人の割合は81.9%となっている。一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた「不満である」と回答した人の割合は3.9%となっている。

図表2-2-7 担当ケアマネジャーの満足度



要介護度別にみると、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足している」と回答した人の割合は、「要介護3」の85.7%が最も高い。

図表2-2-8 担当ケアマネジャーの満足度（要介護度別）



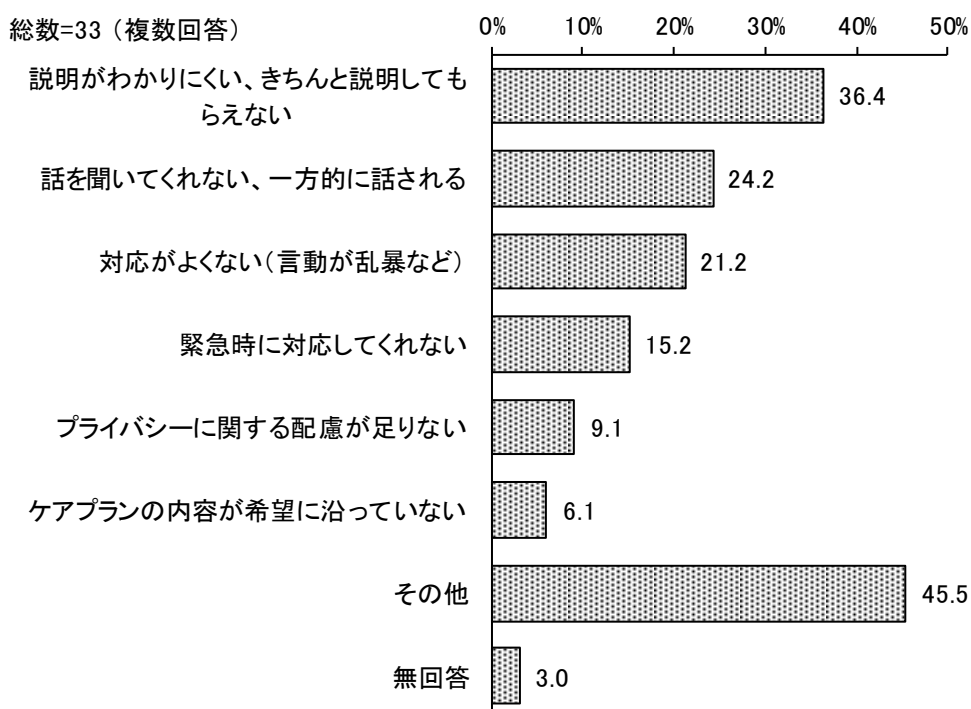
(要介護度が無回答の22人は掲載していない)

【問12で「4. やや不満である」「5. 不満である」と回答した方におたずねします。】

問12-1 どのようなことに不満がありますか。(〇はいくつでも)

ケアマネジャーに対する不満の理由は、「説明がわかりにくい、きちんと説明してもらえない」が36.4%で最も高く、次いで「話を聞いてくれない、一方的に話される」が24.2%、「対応がよくない(言動が乱暴など)」が21.2%となっている。

図表2-2-9 担当ケアマネジャーに対する不満の理由

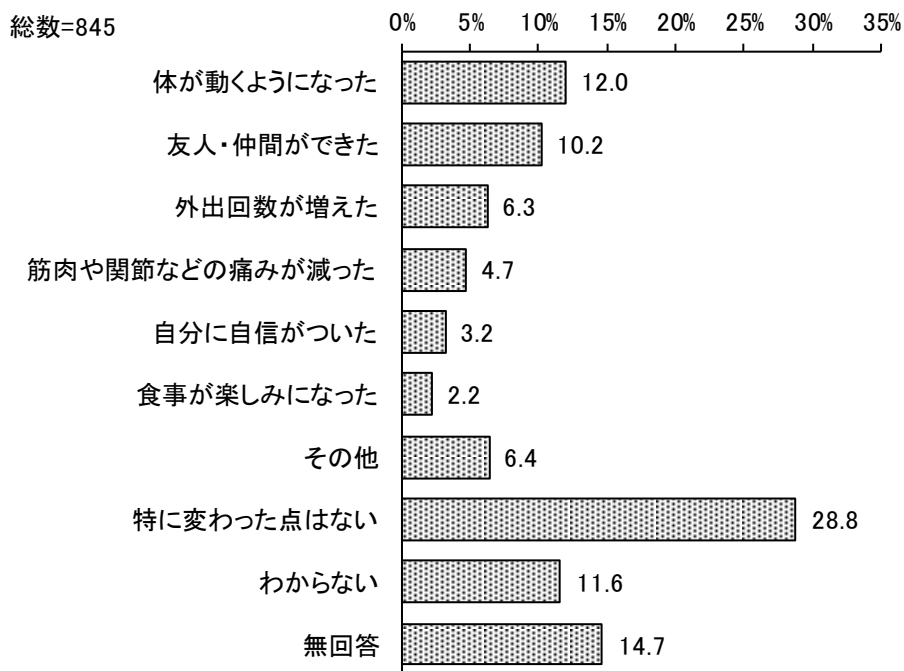


(5) 介護サービスの効果

問13 あなたは、介護サービスを利用するようになって変わったことはありますか。(〇は1つ)

「特に変わった点はない」が28.8%で最も高く、次いで「体が動くようになった」が12.0%、「友人・仲間ができた」が10.2%となっている。

図表2-2-10 介護サービスの効果



介護サービスの効果を要介護度別にみると、要介護度による差がみられない項目が多いが、「友人・仲間ができた」では要介護1・2が他の介護度よりも高い。

また、「特に変わった点はない」と「わからない」を合わせた、効果がみられない人の割合は、要介護1～3は30%台であるが、要介護4・5では50%台となっており、要介護4を境に大きく増加している。

図表2-2-11 介護サービスの効果（要介護度別）

（上段：回答数、下段：構成比）

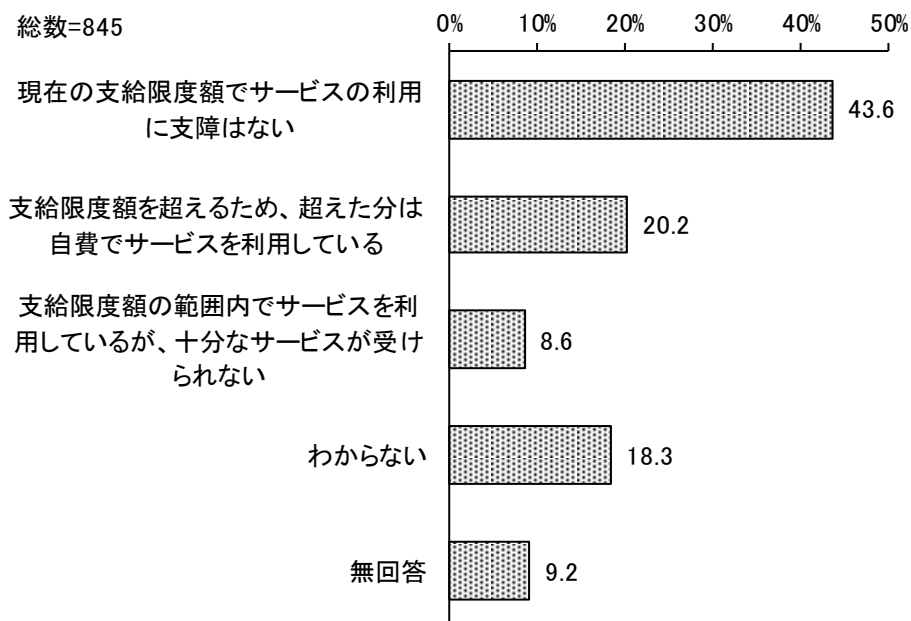
	全体	体が動くようになった	筋肉や関節などの痛みが減った	自分に自信がいった	食事が楽しみになった	友人・仲間ができた	外出回数が増えた	その他	特に変わった点はない	わからない	無回答	
全体	845 100.0	101 12.0	40 4.7	27 3.2	19 2.2	86 10.2	53 6.3	54 6.4	243 28.8	98 11.6	124 14.7	
要介護度	要介護1	231 100.0	24 10.4	10 4.3	11 4.8	8 3.5	25 10.8	19 8.2	16 6.9	57 24.7	23 10.0	38 16.5
	要介護2	278 100.0	41 14.7	14 5.0	9 3.2	6 2.2	40 14.4	17 6.1	16 5.8	82 29.5	17 6.1	36 12.9
	要介護3	126 100.0	16 12.7	7 5.6	5 4.0	1 0.8	11 8.7	12 9.5	7 5.6	37 29.4	13 10.3	17 13.5
	要介護4	87 100.0	8 9.2	3 3.4	2 2.3	3 3.4	3 3.4	2 2.3	4 4.6	32 36.8	17 19.5	13 14.9
	要介護5	68 100.0	8 11.8	3 4.4	-	-	4 5.9	1 1.5	7 10.3	16 23.5	21 30.9	8 11.8
	要支援1・2、 サービス事業対象者	21 100.0	-	1 4.8	-	-	1 4.8	1 4.8	2 9.5	8 38.1	3 14.3	5 23.8
	わからない	12 100.0	2 16.7	-	-	-	1 8.3	-	-	4 33.3	3 25.0	2 16.7
	無回答	22 100.0	2 9.1	2 9.1	-	1 4.5	1 4.5	1 4.5	2 9.1	7 31.8	1 4.5	5 22.7

## (6) 支給限度額による支障

問14 介護保険では、要介護度に応じて利用できる上限（支給限度額）が定められていますが、介護サービスを利用して支障がありますか。（○は1つ）

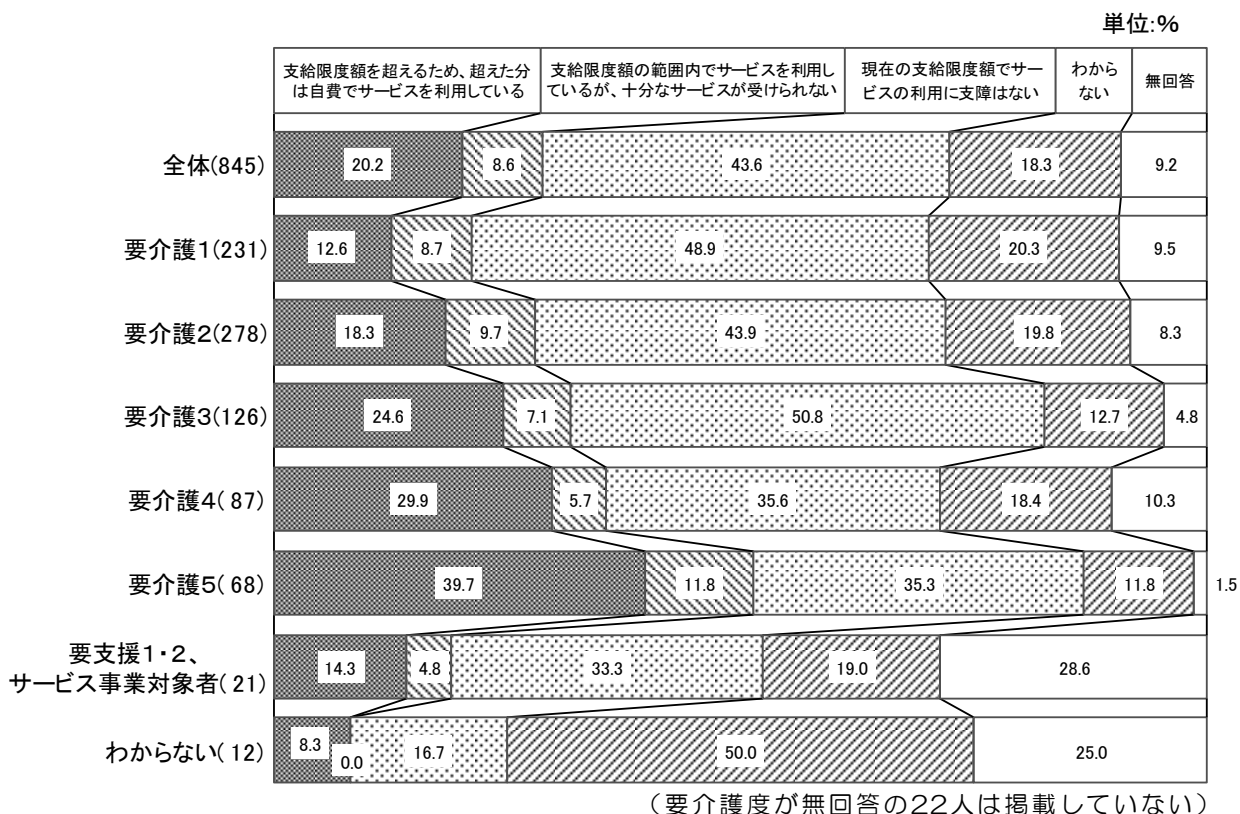
支給限度額によるサービス利用の支障の有無は、「現在の支給限度額でサービスの利用に支障はない」の割合が43.6%で最も高く、次いで「支給限度額を超えるため、超えた分は自費でサービスを利用している」が20.2%、「わからない」が18.3%となっている。

図表2-2-12 支給限度額による支障



支給限度額によるサービス利用の支障の有無を要介護度別にみると、「支給限度額を超えるため、超えた分は自費でサービスを利用している」の割合は、要介護度が高くなるにつれて増加していき、要介護5では39.7%となっている。一方で、「現在の支給限度額でサービスの利用に支障がない」の割合は、要介護度が高くなるにつれて減少する。

図表2-2-13 支給限度額による支障（要介護度別）



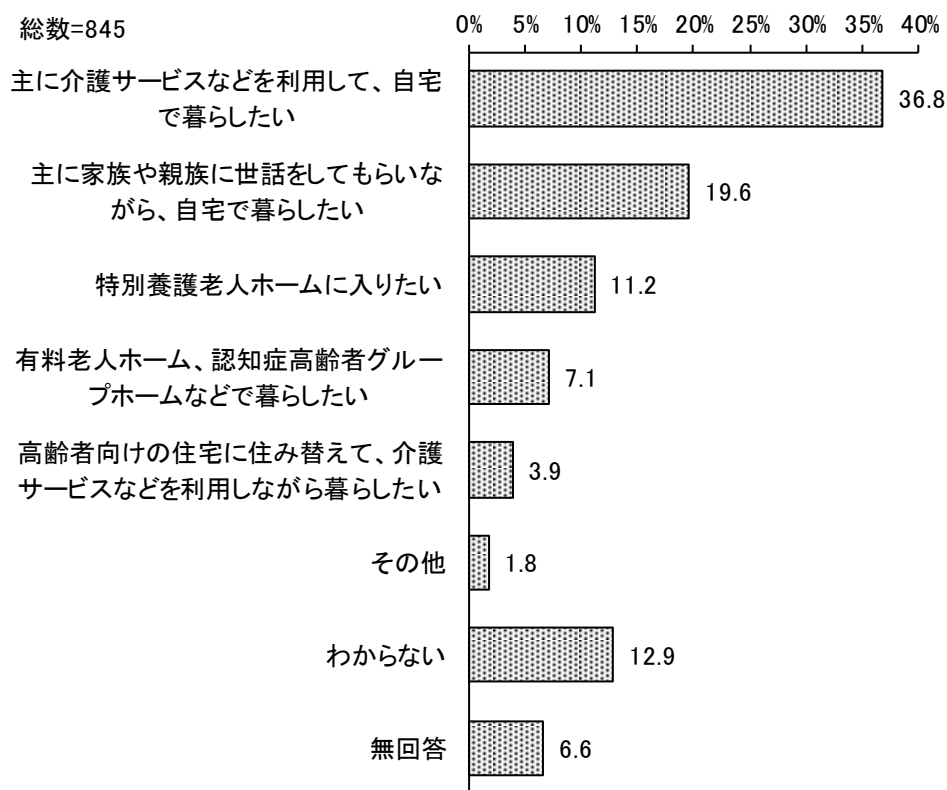


## (7) 今後の暮らし方

問15 今後要介護度が重くなった場合、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が36.8%で最も高く、次いで「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」が19.6%、「わからない」が12.9%となっている。

図表2-2-14 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方



要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を性別・年齢階級別にみると、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合は、「男性75～79歳」、「女性80～84歳」で一旦9ポイント程度減少するが、その後再び増加している。また、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合は、「男性75歳～79歳」、「女性65～69歳」を境に減少に転じる。

図表2-2-15 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方  
(性別・年齢階級別)

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	主に家族や親族に世話をもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		845 100.0	166 19.6	311 36.8	33 3.9	60 7.1	95 11.2	15 1.8	109 12.9	56 6.6
性別・年齢階級	男性全体	282 100.0	56 19.9	104 36.9	10 3.5	19 6.7	26 9.2	4 1.4	41 14.5	22 7.8
	64歳以下	16 100.0	3 18.8	5 31.3	-	1 6.3	1 6.3	1 6.3	4 25.0	1 6.3
	65～69歳	15 100.0	4 26.7	6 40.0	-	-	2 13.3	-	1 6.7	2 13.3
	70～74歳	27 100.0	5 18.5	12 44.4	-	1 3.7	3 11.1	-	6 22.2	-
	75～79歳	42 100.0	4 9.5	21 50.0	5 11.9	3 7.1	1 2.4	-	7 16.7	1 2.4
	80～84歳	64 100.0	11 17.2	17 26.6	3 4.7	4 6.3	12 18.8	-	10 15.6	7 10.9
	85～89歳	73 100.0	16 21.9	29 39.7	2 2.7	7 9.6	2 2.7	1 1.4	7 9.6	9 12.3
	90歳以上	45 100.0	13 28.9	14 31.1	-	3 6.7	5 11.1	2 4.4	6 13.3	2 4.4
	女性全体	552 100.0	110 19.9	204 37.0	23 4.2	40 7.2	68 12.3	11 2.0	67 12.1	29 5.3
	64歳以下	15 100.0	1 6.7	5 33.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7
	65～69歳	16 100.0	2 12.5	8 50.0	1 6.3	2 12.5	-	-	1 6.3	2 12.5
	70～74歳	28 100.0	5 17.9	11 39.3	3 10.7	1 3.6	3 10.7	-	2 7.1	3 10.7
	75～79歳	53 100.0	12 22.6	24 45.3	3 5.7	2 3.8	3 5.7	-	5 9.4	4 7.5
	80～84歳	95 100.0	13 13.7	40 42.1	7 7.4	6 6.3	12 12.6	2 2.1	14 14.7	1 1.1
	85～89歳	154 100.0	32 20.8	57 37.0	5 3.2	12 7.8	17 11.0	4 2.6	19 12.3	8 5.2
	90歳以上	191 100.0	45 23.6	59 30.9	2 1.0	15 7.9	32 16.8	4 2.1	24 12.6	10 5.2
無回答		11 100.0	-	3 27.3	-	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	5 45.5

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を要介護度別にみると、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」を合わせた「自宅で暮らしたい」と回答した人の割合は、要介護1～3は60%程度、要介護5では50.0%である。このうち、要介護2以下の軽度者は「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が特に高く40%を超えている。また、要介護4では、他の介護度と比べ、「自宅で暮らしたい」の割合が低く、「特別養護老人ホームに入りたい」の割合が高い。

家族構成別にみると、「自宅で暮らしたい」と回答した人の割合は、ひとり暮らしや夫婦のみの世帯では50%強、息子・娘と同居の世帯では60%強となっている。

図表2-2-16 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方  
(要介護度別、家族構成別)

(上段：回答数、下段：構成比)

	全体	暮らし方								
		主に家族や親族に世話をもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用してしながら暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答	
全体	845 100.0	166 19.6	311 36.8	33 3.9	60 7.1	95 11.2	15 1.8	109 12.9	56 6.6	
要介護度	要介護1	231 100.0	40 17.3	100 43.3	14 6.1	13 5.6	9 3.9	7 3.0	34 14.7	14 6.1
	要介護2	278 100.0	52 18.7	113 40.6	9 3.2	19 6.8	33 11.9	4 1.4	31 11.2	17 6.1
	要介護3	126 100.0	38 30.2	35 27.8	5 4.0	6 4.8	23 18.3	1 0.8	16 12.7	2 1.6
	要介護4	87 100.0	8 9.2	30 34.5	4 4.6	10 11.5	19 21.8	1 1.1	9 10.3	6 6.9
	要介護5	68 100.0	17 25.0	17 25.0	-	9 13.2	6 8.8	2 2.9	12 17.6	5 7.4
	要支援1・2、サービス事業対象者	21 100.0	3 14.3	6 28.6	1 4.8	1 4.8	2 9.5	-	3 14.3	5 23.8
	わからない	12 100.0	4 33.3	3 25.0	-	-	-	-	4 33.3	1 8.3
	無回答	22 100.0	4 18.2	7 31.8	-	2 9.1	3 13.6	-	-	6 27.3
家族構成	ひとり暮らし	205 100.0	19 9.3	94 45.9	9 4.4	17 8.3	21 10.2	4 2.0	25 12.2	16 7.8
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	176 100.0	30 17.0	71 40.3	11 6.3	12 6.8	17 9.7	2 1.1	15 8.5	18 10.2
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	15 100.0	3 20.0	5 33.3	-	1 6.7	2 13.3	-	2 13.3	2 13.3
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	96 100.0	31 32.3	29 30.2	-	6 6.3	14 14.6	2 2.1	13 13.5	1 1.0
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	223 100.0	66 29.6	71 31.8	9 4.0	8 3.6	26 11.7	2 0.9	33 14.8	8 3.6
	その他	110 100.0	15 13.6	33 30.0	4 3.6	12 10.9	13 11.8	5 4.5	21 19.1	7 6.4
	無回答	20 100.0	2 10.0	8 40.0	-	4 20.0	2 10.0	-	-	4 20.0

### 3 介護保険制度や保険料、利用料について

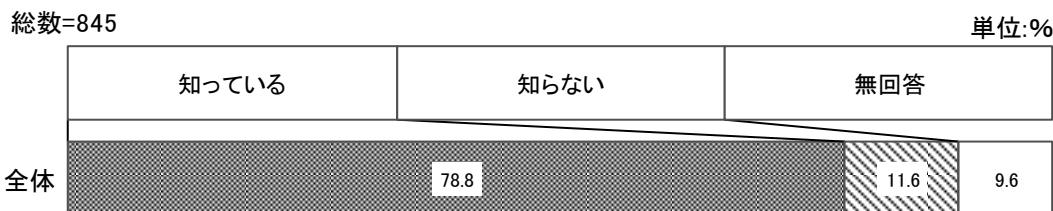
#### (1) 介護保険制度の認知度

問16 介護保険制度について、以下のようなことを知っていましたか。(それぞれ〇は1つ)

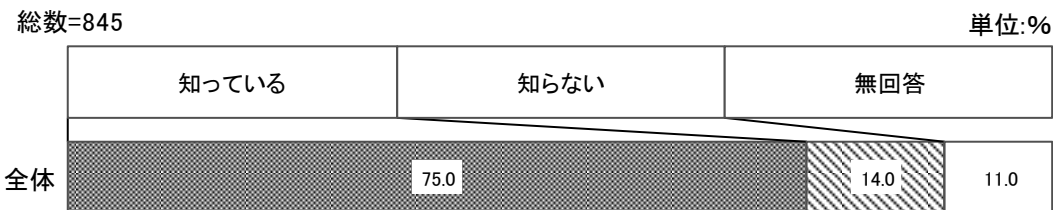
介護保険制度について「知っている」と回答した人の割合は、「サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する」が78.8%で最も高く、次いで「要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である」が75.0%、「福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある」が73.7%である。

一方で、「知らない」と回答した人の割合は、「自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある」が44.0%で最も高く、次いで「サービス事業者は、自由に選び契約することができる」が25.3%、「要支援・要介護度に応じた利用の上限がある。」が17.6%となっている

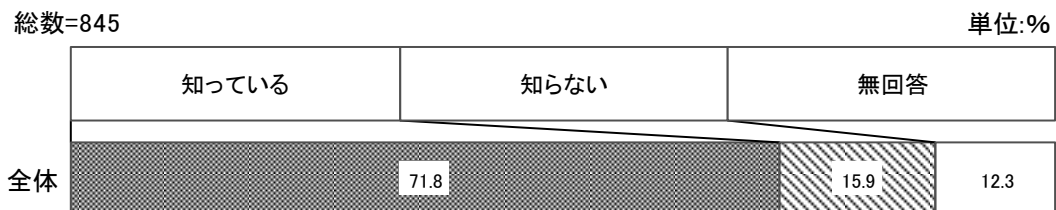
図表 2-3-1 ①サービス利用料の1割～3割を利用者が負担する



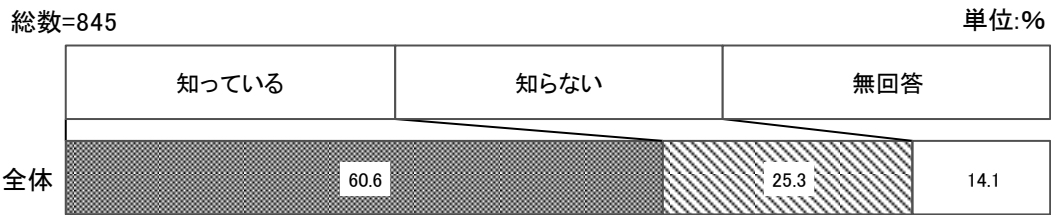
図表 2-3-2 ②要支援・要介護認定には有効期限があり、更新申請が必要である



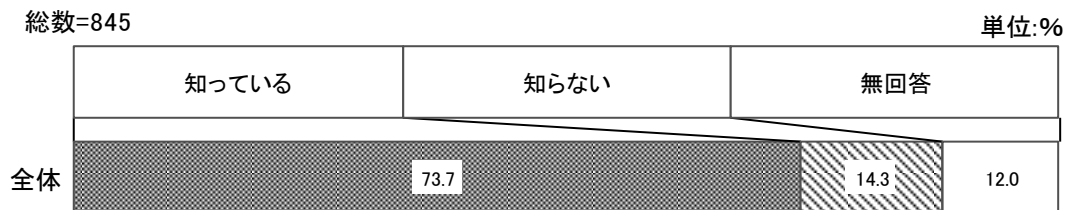
図表 2-3-3 ③サービスを利用するためには、ケアプランの作成が必要である



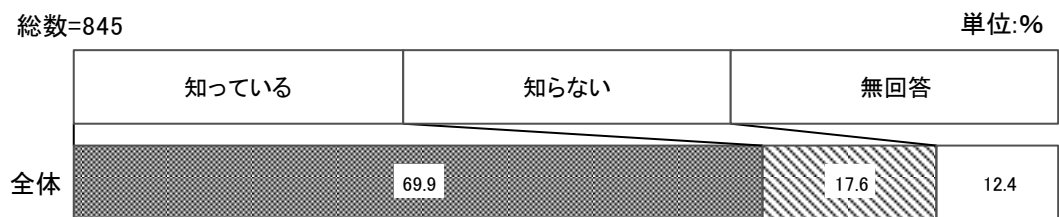
図表2-3-4 ④サービス事業者は、自由に選び契約することができる



図表2-3-5 ⑤福祉用具の貸与・購入や住宅改修の制度がある



図表2-3-6 ⑥要支援・要介護度に応じた利用の上限がある



図表2-3-7 ⑦自己負担額が一定額を超えると、払い戻しの制度がある

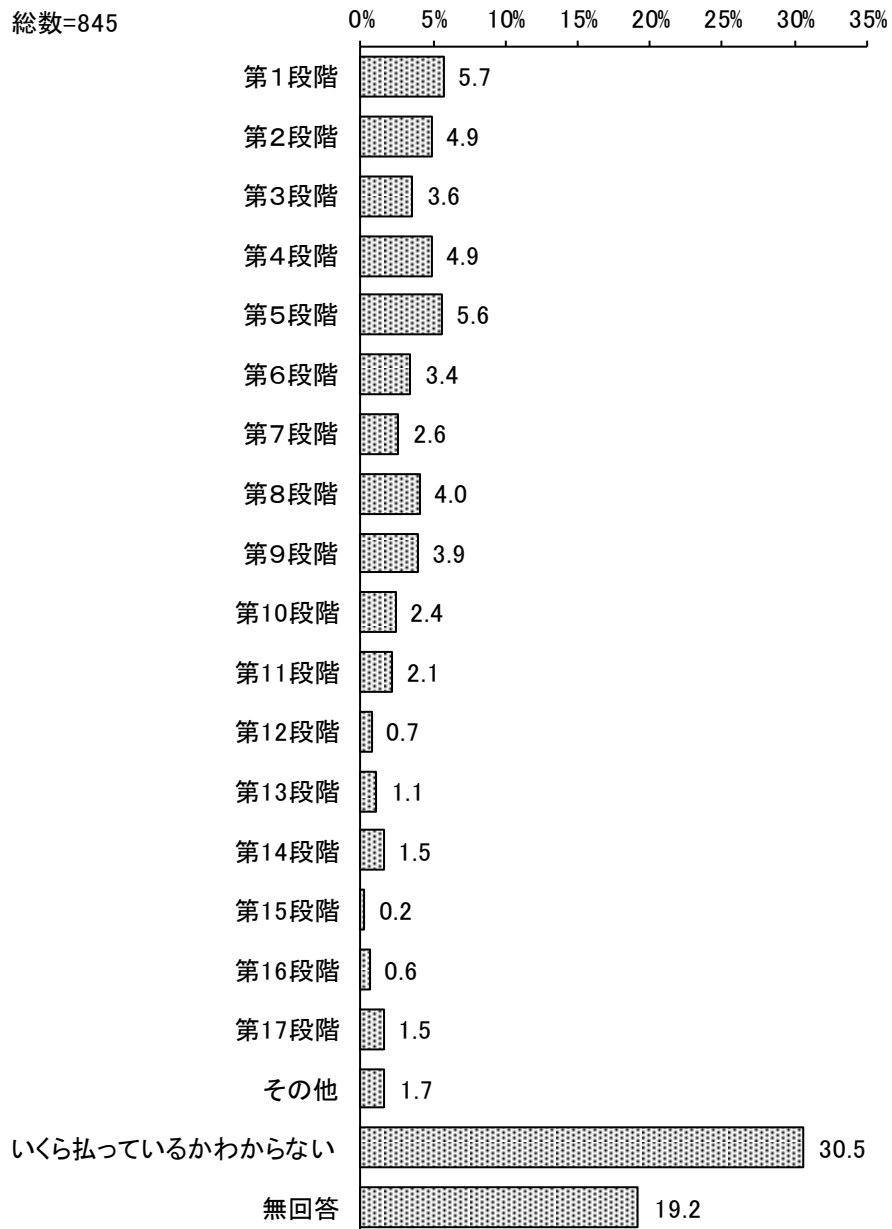


## (2) 介護保険料の所得段階

問17 あなたの現在の介護保険料の所得段階は、どれに該当しますか。(○は1つ)

保険料の所得段階は、「いくら払っているかわからない」の割合が30.5%で最も高く、次いで「第1段階」が5.7%、「第5段階」が5.6%となっている。

図表2-3-8 介護保険料の所得段階



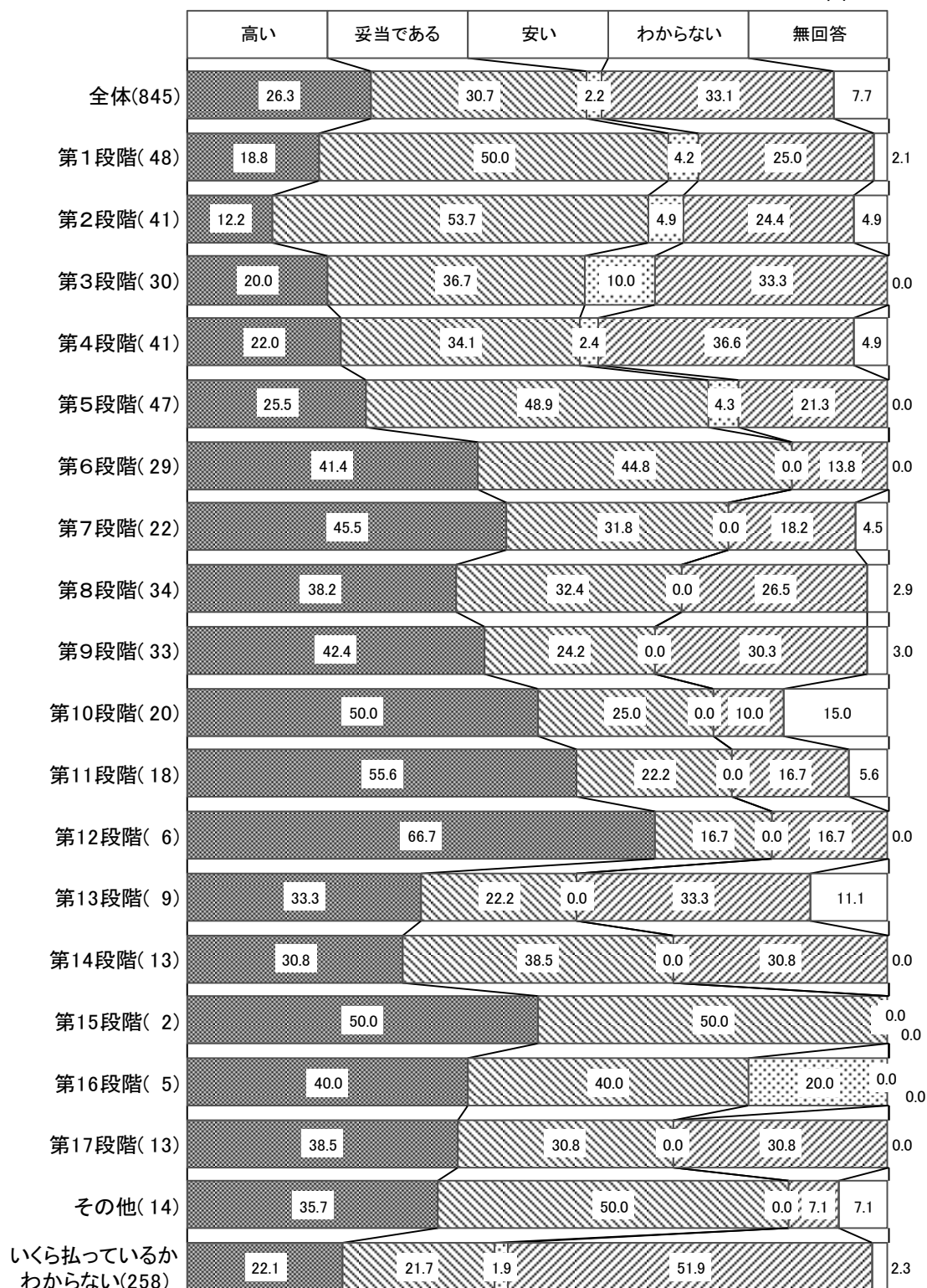
(3) 介護保険料の負担感

問18 介護保険料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護保険料についての考えは、「わからない」が33.1%で最も高く、次いで「妥当である」が30.7%、「高い」が26.3%となっている。

図表2-3-9 介護保険料の負担感

単位:%



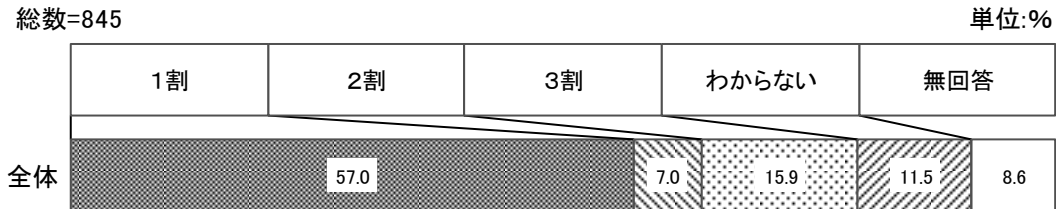
(所得段階が無回答の162人は掲載していない)

#### (4) 介護サービスの利用者負担割合

問19 あなたの介護サービスの利用者負担割合は、どれに該当しますか。(○は1つ)

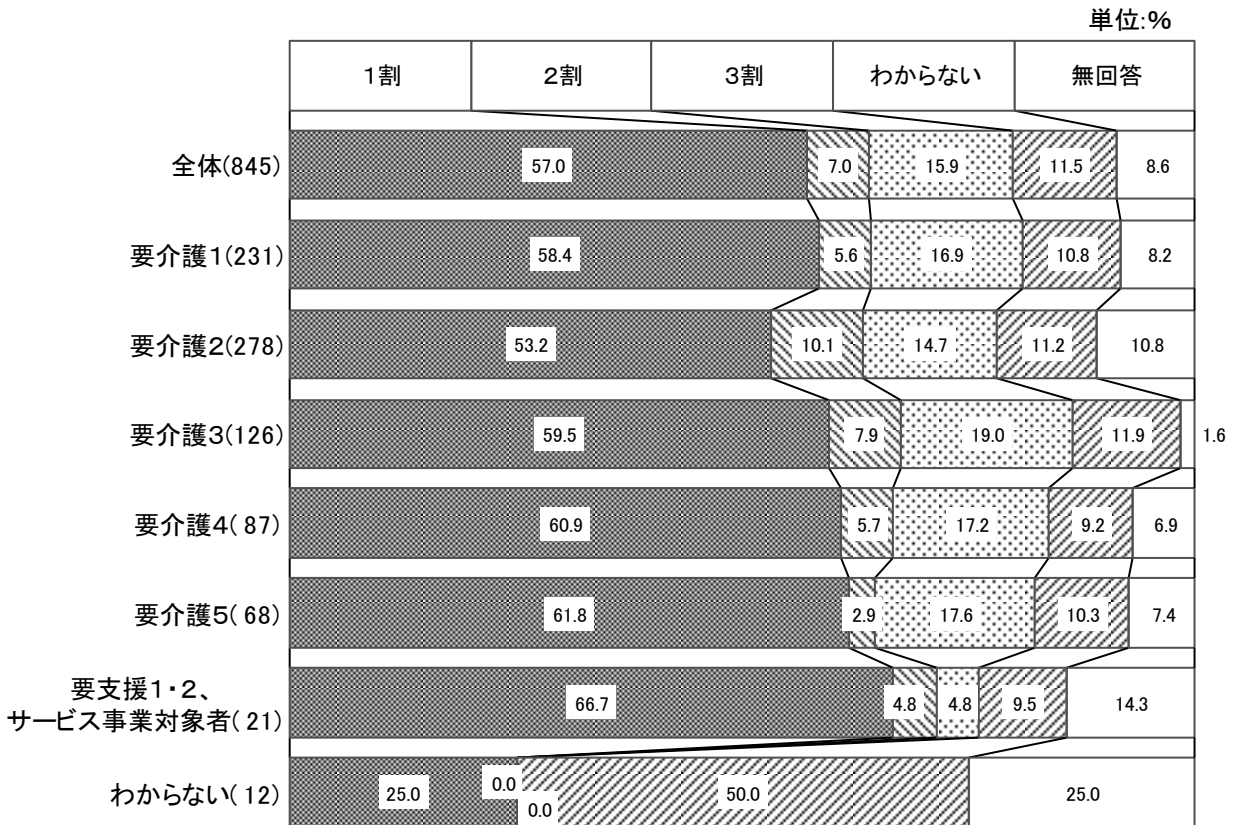
介護サービスの利用者負担割合は、「1割」が57.0%で最も高く、次いで、「3割」が15.9%、「2割」が7.0%となっている。

図表2-3-10 介護サービスの利用者負担割合



介護サービスの利用者負担割合を要介護度別にみると、「1割」は要介護3以降で増加傾向にある。また、「2割」は要介護2が10.1%で最も高く、「3割」は要介護3が19.0%で最も高い。

図表2-3-11 介護サービスの利用者負担割合（要介護度別）



(要介護度が無回答の22人は掲載していない)



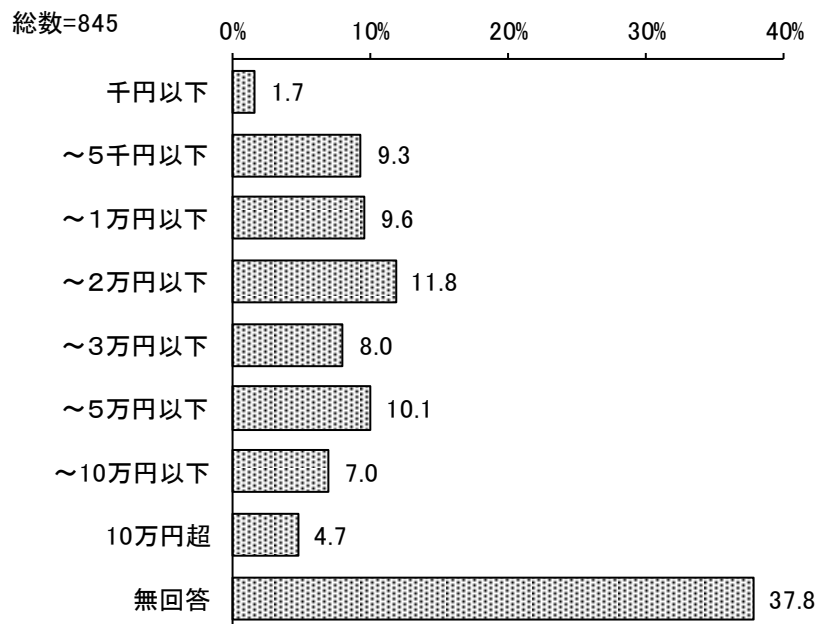
(5) 介護サービス利用料

問20 あなたの1か月の介護サービスの利用料はいくらでしたか。

※令和元年10月にお支払いになった、おおよその金額をご記入ください。

1か月あたりの介護サービス利用料は、「2万円以下」が11.8%で最も高く、次いで「5万円以下」が10.1%、「1万円以下」が9.6%となっている。

図表2-3-12 1か月あたりの介護サービス利用料



1 か月あたりの介護サービス利用料を要介護度別にみると、要介護1では「5千円以下」、要介護2では「1万円以下」、要介護3～5では「5万円以下」の割合が最も高い。（無回答者を除いて比較）

図表2-3-13 1か月あたりの介護サービス利用料（要介護度別）

（上段：回答数、下段：構成比）

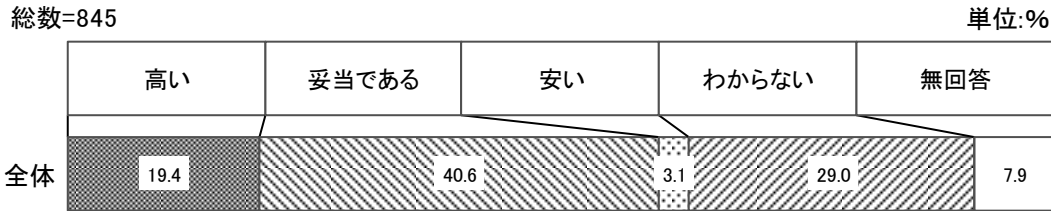
		全体	千円以下	5千円以下	1万円以下	2万円以下	3万円以下	5万円以下	10万円以下	10万円超	無回答
全体		845 100.0	14 1.7	79 9.3	81 9.6	100 11.8	68 8.0	85 10.1	59 7.0	40 4.7	319 37.8
要介護度	要介護1	231 100.0	4 1.7	42 18.2	23 10.0	38 16.5	15 6.5	5 2.2	5 2.2	5 2.2	94 40.7
	要介護2	278 100.0	6 2.2	20 7.2	40 14.4	36 12.9	27 9.7	23 8.3	16 5.8	8 2.9	102 36.7
	要介護3	126 100.0	-	5 4.0	8 6.3	16 12.7	14 11.1	21 16.7	14 11.1	8 6.3	40 31.7
	要介護4	87 100.0	-	3 3.4	5 5.7	5 5.7	6 6.9	21 24.1	11 12.6	7 8.0	29 33.3
	要介護5	68 100.0	2 2.9	1 1.5	3 4.4	2 2.9	6 8.8	13 19.1	9 13.2	11 16.2	21 30.9
	要支援1・2、 サービス事業対象者	21 100.0	2 9.5	6 28.6	-	1 4.8	-	2 9.5	1 4.8	-	9 42.9
	わからない	12 100.0	-	1 8.3	-	-	-	-	-	-	11 91.7
	無回答	22 100.0	-	1 4.5	2 9.1	2 9.1	-	-	3 13.6	1 4.5	13 59.1

(6) 介護サービスの利用料の負担感

問21 介護サービスの利用料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

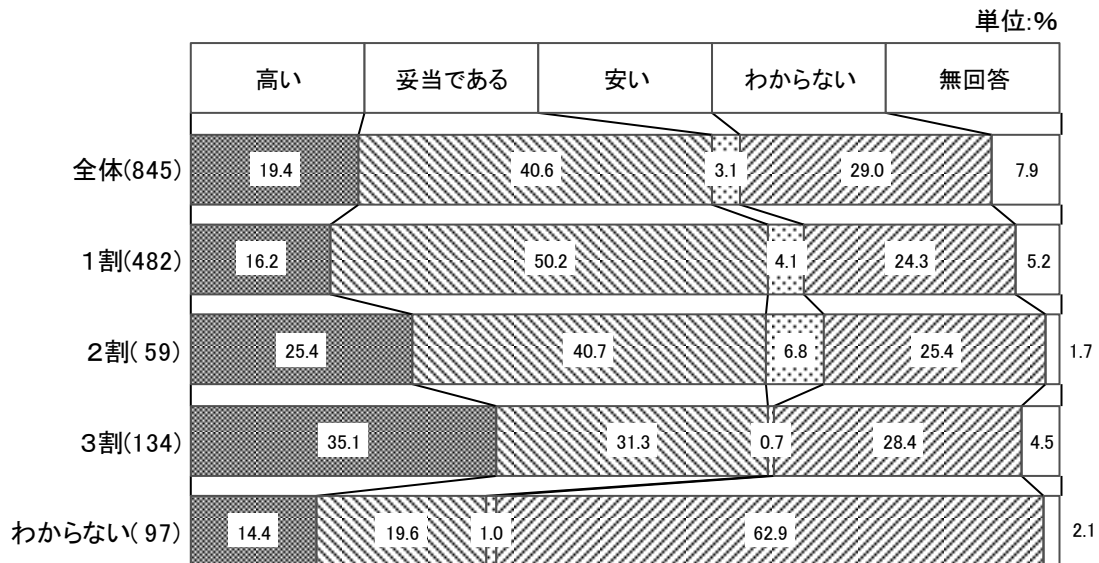
介護サービス利用料の負担感は、「妥当である」が40.6%で最も高く、次いで「わからない」が29.0%、「高い」が19.4%となっている。

図表2-3-14 介護サービス利用料の負担感



介護サービス利用料の負担感を利用者負担割合別にみると、負担割合が高くなるにつれて「高い」が増加し、「妥当である」が減少する。

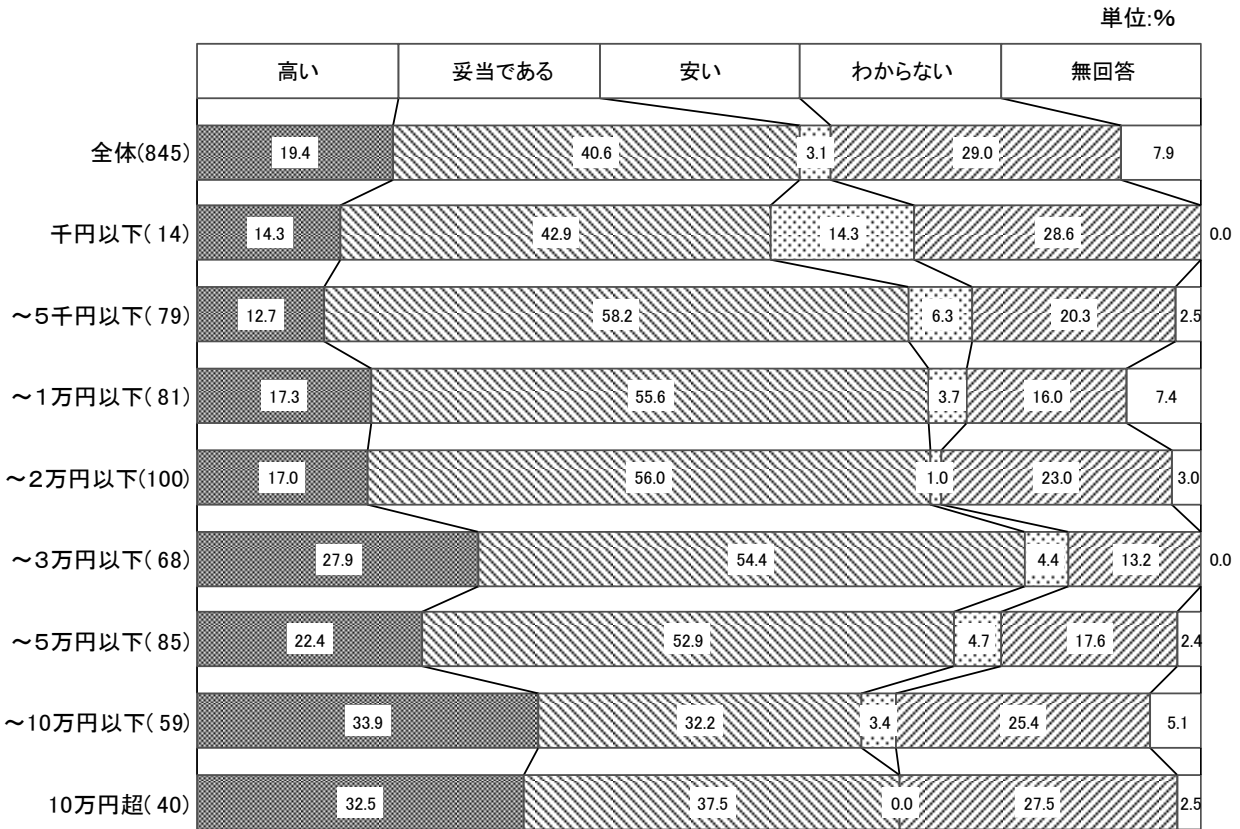
図表2-3-15 介護サービス利用料の負担感（利用者負担割合別）



(利用負担割合が無回答の73人は掲載していない)

介護サービス利用料の負担感を介護サービス利用料別にみると、利用料が「～5千円以下」から「～5万円以下」まででは、「妥当である」が50%以上となっている。一方で「～10万円以下」および「10万円超」では「妥当である」と「高い」の割合が、それぞれ30%台となっている。

図表2-3-16 介護サービス利用料の負担感（介護サービス利用料別）



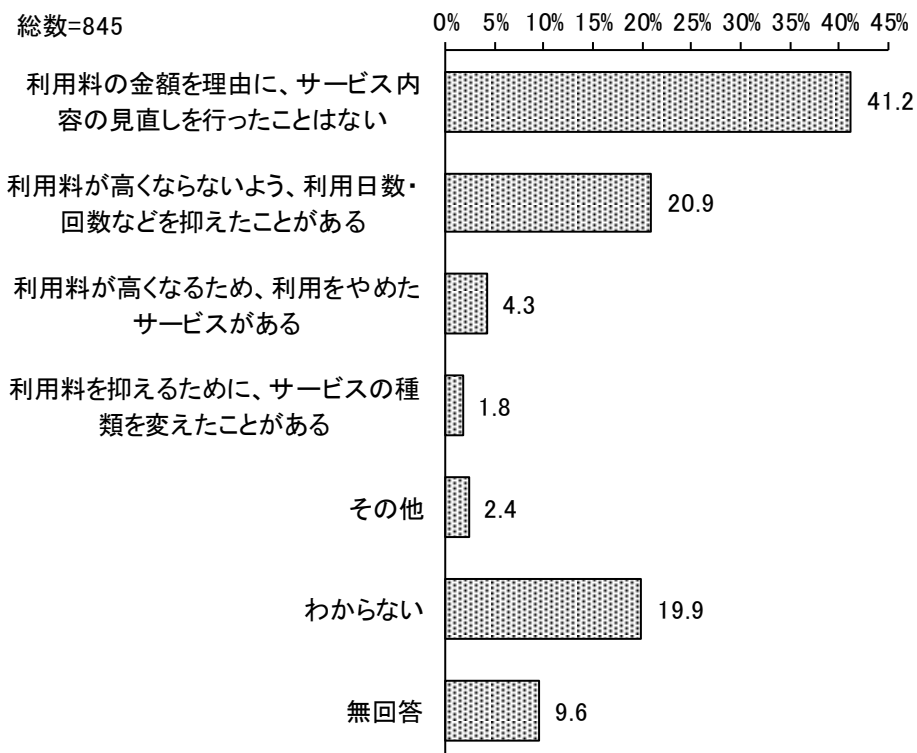
(介護サービス利用料が無回答の319人は掲載していない)

(7) 利用料の額がサービス利用に与える影響

問22 あなたは、介護サービスの利用内容や回数を決めるときに、利用料の金額を考慮したことはありますか。(〇は1つ)

「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」の割合が41.2%で最も高く、次いで「利用料が高くないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」が20.9%、「利用料が高くなるため、利用をやめたサービスがある」が4.3%となっている。

図表2-3-17 利用料の額がサービス利用に与える影響





介護サービス利用料別にみると、利用料が「千円以下」から「～3万円以下」まででは、「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」が50%程度となっている。

一方で、利用料が「～5万円以下」では、「サービス内容の直しを行ったことはない」が37.6%で前後の層よりも低く、「利用料が高くなならないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」が41.2%で前後の層よりも高くなっている。

図表2-3-19 利用料の額がサービス利用に与える影響（介護サービス利用料別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

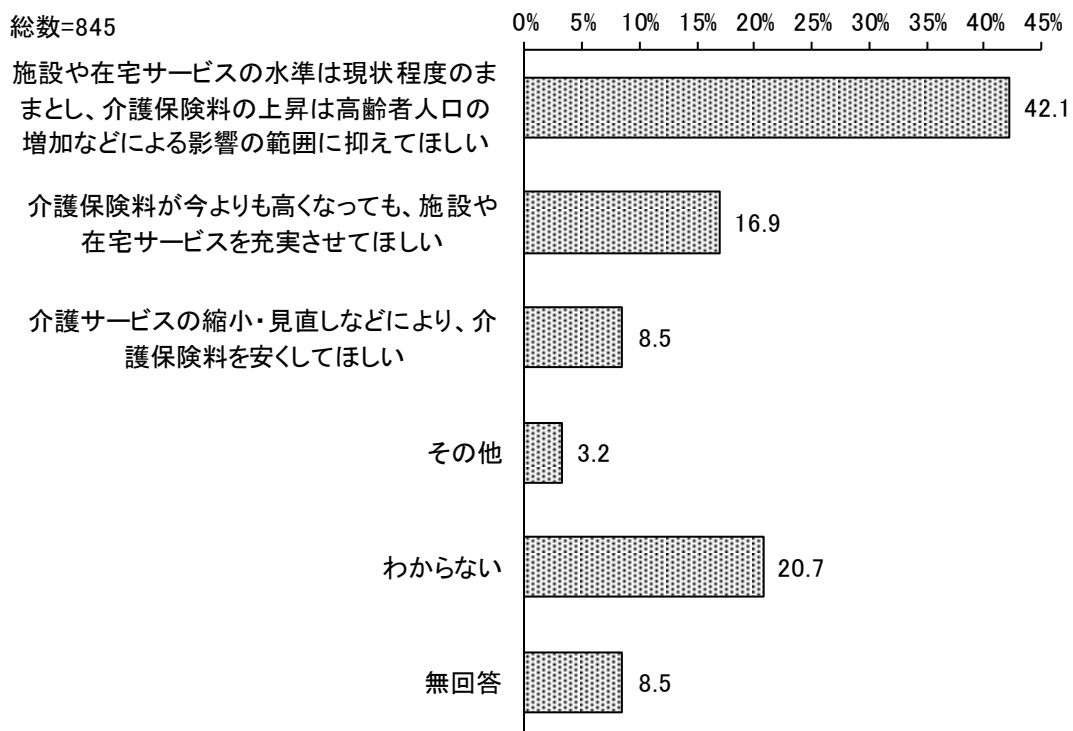
	全体	サ 利 用 料 の 金 額 を 理 由 に 、 サ ー ビ ス 内 容 の 見 直 し を 行 っ た こ と は な い	サ 利 用 料 が 高 く な ら な い よ う 、 利 用 日 数 ・ 回 数 な ど を 抑 え た こ と が あ る	利 用 料 が 高 く な ら な い よ う 、 利 用 日 数 ・ 回 数 な ど を 抑 え た こ と が あ る	サ 利 用 料 を 抑 え る た め に 、 サ ー ビ ス 内 容 の 見 直 し を 行 っ た こ と が あ る	サ 利 用 料 を 抑 え る た め に 、 サ ー ビ ス 内 容 の 見 直 し を 行 っ た こ と が あ る	わ か ら な い	無 回 答	
全体	845 100.0	348 41.2	177 20.9	36 4.3	15 1.8	20 2.4	168 19.9	81 9.6	
介 護 サ ー ビ ス 利 用 料	千円以下	14 100.0	7 50.0	2 14.3	- -	- -	4 28.6	1 7.1	
	～5千円以下	79 100.0	41 51.9	14 17.7	3 3.8	1 1.3	15 19.0	4 5.1	
	～1万円以下	81 100.0	40 49.4	21 25.9	2 2.5	1 1.2	5 6.2	8 9.9	4 4.9
	～2万円以下	100 100.0	52 52.0	20 20.0	4 4.0	- -	3 3.0	17 17.0	4 4.0
	～3万円以下	68 100.0	33 48.5	24 35.3	2 2.9	4 5.9	- -	4 5.9	1 1.5
	～5万円以下	85 100.0	32 37.6	35 41.2	3 3.5	1 1.2	1 1.2	9 10.6	4 4.7
	～10万円以下	59 100.0	25 42.4	14 23.7	5 8.5	- -	2 3.4	10 16.9	3 5.1
	10万円超	40 100.0	24 60.0	4 10.0	- -	3 7.5	1 2.5	8 20.0	- -
	無回答	319 100.0	94 29.5	43 13.5	17 5.3	5 1.6	7 2.2	93 29.2	60 18.8

## (8) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

問23 介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係については、「施設や在宅サービスの水準は現状程度そのままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」が42.1%で最も高く、次いで「わからない」が20.7%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が16.9%となっている。

図表2-3-20 介護サービスと介護保険料の関係についての考え





介護サービスと介護保険料の関係についての考えを要介護度別にみると、全ての介護度で「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」の割合が高い。また、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」の割合は要介護5が29.4%で最も高く、最も低い要介護1の13.4%を16.0ポイント上回っている。

図表2-3-21 介護サービスと介護保険料の関係についての考え（要介護度別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	も、施設や在宅サービスも高くなつても、施設や在宅サービスを充実させてほしい	介護保険料が今よりも高くなつても、施設や在宅サービスを充実させてほしい	施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい	介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい	その他	わからない	無回答
全体	845 100.0	143 16.9	356 42.1	72 8.5	27 3.2	175 20.7	72 8.5	
要介護度	要介護1	231 100.0	31 13.4	96 41.6	20 8.7	9 3.9	50 21.6	25 10.8
	要介護2	278 100.0	45 16.2	122 43.9	32 11.5	6 2.2	54 19.4	19 6.8
	要介護3	126 100.0	19 15.1	62 49.2	7 5.6	3 2.4	28 22.2	7 5.6
	要介護4	87 100.0	20 23.0	34 39.1	8 9.2	4 4.6	14 16.1	7 8.0
	要介護5	68 100.0	20 29.4	29 42.6	1 1.5	5 7.4	9 13.2	4 5.9
	要支援1・2、サービス事業対象者	21 100.0	2 9.5	7 33.3	2 9.5	-	7 33.3	3 14.3
	わからない	12 100.0	-	-	1 8.3	-	9 75.0	2 16.7
	無回答	22 100.0	6 27.3	6 27.3	1 4.5	-	4 18.2	5 22.7

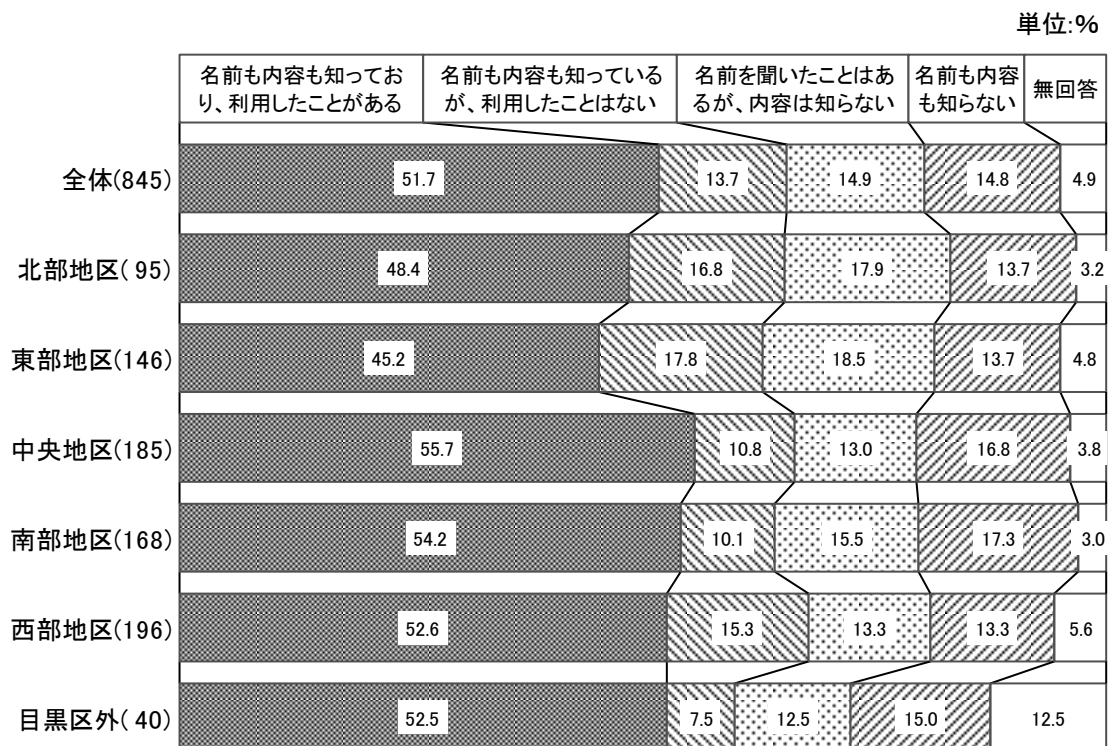
## 4 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

### (1) 地域包括支援センターの認知度

問24 目黒区では、区内5か所に保健福祉の総合相談窓口「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは「地域包括支援センター」をご存知ですか。(〇は1つ)

地域包括支援センターについて、「名前も内容も知っており、利用したことがある」の割合が51.7%で最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らないが」が14.9%、「名前も内容も知っているが、利用したことはない」が13.7%となっている。また、「名前も内容も知っており、利用したことがある」と「名前も内容も知っているが、利用したことはない」を合わせた「内容まで知っている」と回答した人の割合は65.4%である。

図表2-4-1 地域包括支援センターの認知度



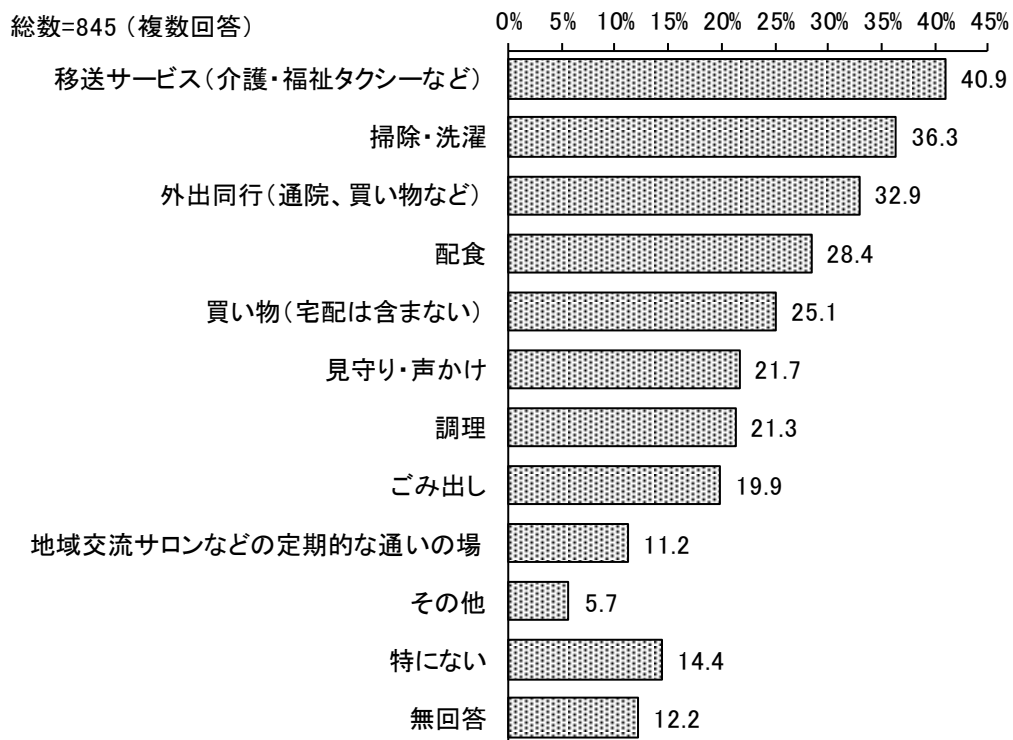
(居住地区が無回答の15人は掲載していない)

## (2) 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

問25 あなたは、自宅での生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が40.9%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が36.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が32.9%となっている。

図表2-4-2 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスを家族構成別にみると、「ひとり暮らし」は「配食」、「調理」、「掃除・洗濯」などの家事援助と「外出同行」を必要とする割合が高く、特に「掃除・洗濯」は54.6%となっている。また、「夫婦のみ」、「息子・娘と同居」では、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が高く、各家族構成とも40%を超えている。

図表2-4-3 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス（家族構成別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

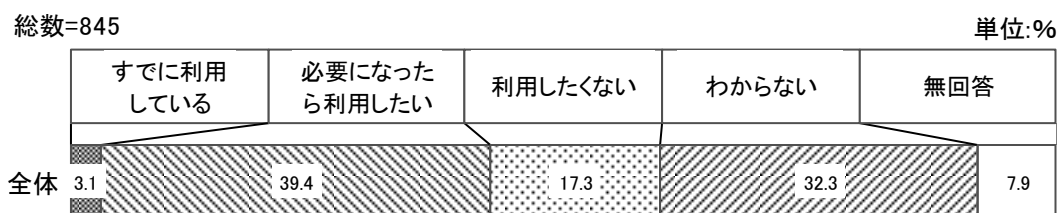
	全体	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ごみ出し	院、買い物な 外出同行（通 ど）	移送サービス （介護・福祉タ クシーなど）	見守り・声かけ	地域交流サロン などの定期的な 通いの場	その他	特にな ない	無回 答	
全体	845 100.0	240 28.4	180 21.3	307 36.3	212 25.1	168 19.9	278 32.9	346 40.9	183 21.7	95 11.2	48 5.7	122 14.4	103 12.2	
家族 構成	ひとり暮らし	205 100.0	73 35.6	56 27.3	112 54.6	82 40.0	67 32.7	91 44.4	78 38.0	58 28.3	23 11.2	9 4.4	14 6.8	27 13.2
	夫婦のみ （配偶者は65歳以上）	176 100.0	51 29.0	34 19.3	61 34.7	42 23.9	34 19.3	48 27.3	80 45.5	36 20.5	15 8.5	5 2.8	27 15.3	23 13.1
	夫婦のみ （配偶者は64歳以下）	15 100.0	5 33.3	3 20.0	6 40.0	3 20.0	3 20.0	3 20.0	7 46.7	6 40.0	4 26.7	-	3 20.0	-
	息子・娘と同居 （息子・娘は65歳以上）	96 100.0	20 20.8	16 16.7	22 22.9	20 20.8	13 13.5	24 25.0	44 45.8	14 14.6	11 11.5	9 9.4	21 21.9	12 12.5
	息子・娘と同居 （息子・娘は64歳以下）	223 100.0	60 26.9	49 22.0	66 29.6	44 19.7	33 14.8	75 33.6	94 42.2	48 21.5	27 12.1	16 7.2	32 14.3	19 8.5
	その他	110 100.0	28 25.5	19 17.3	36 32.7	19 17.3	17 15.5	32 29.1	36 32.7	20 18.2	14 12.7	8 7.3	20 18.2	19 17.3
	無回答	20 100.0	3 15.0	3 15.0	4 20.0	2 10.0	1 5.0	5 25.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0	3 15.0

### (3) 成年後見制度の利用意向

問26 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族が、判断能力が十分でなくなってきたときに「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○は1つ）

成年後見制度について、「必要になったら利用したい」が39.4%で最も高く、次いで「わからない」が32.3%、「利用したくない」が17.3%となっている。

図表2-4-4 成年後見制度の利用意向

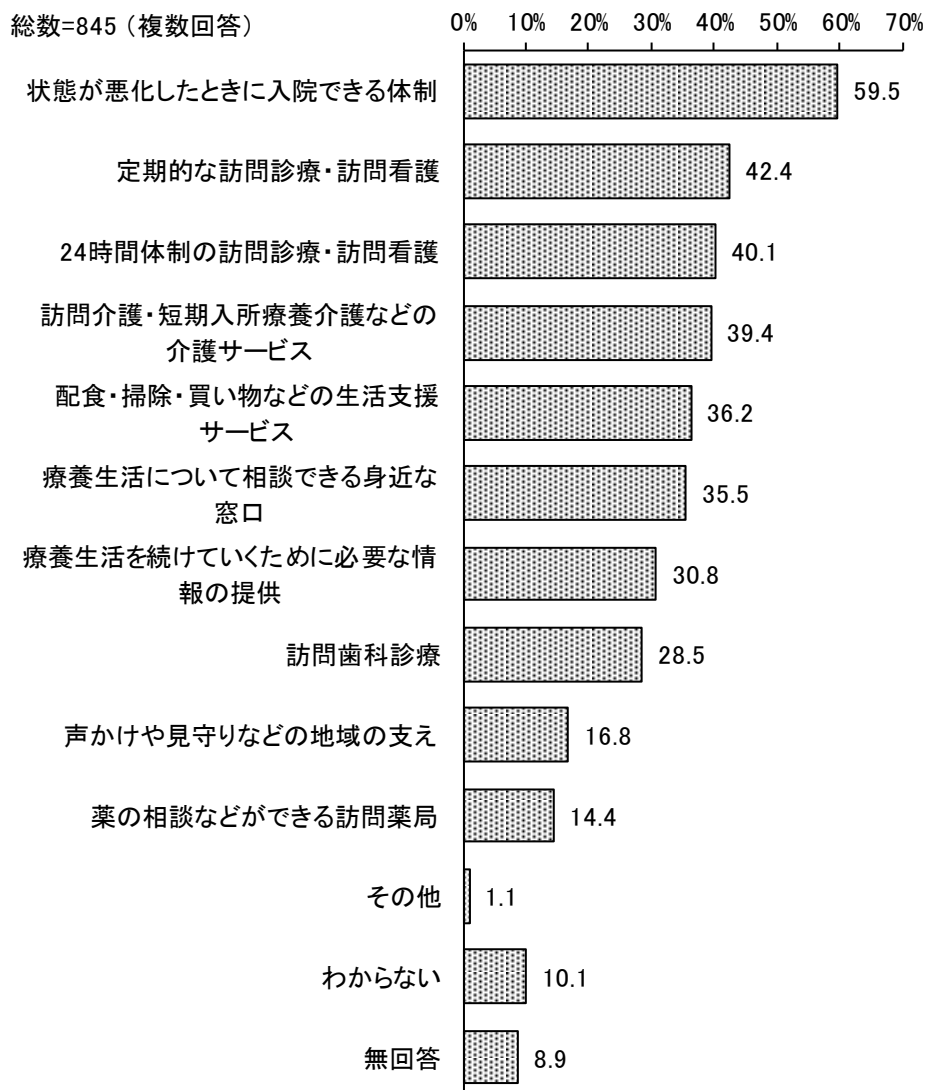


(4) 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

問27 あなたは、要介護度が重くなったり病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、自宅で生活をするためには、どのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

在宅療養のために必要なサービス・体制は、「状態が悪化したときに入院できる体制」が59.5%で最も高く、次いで「定期的な訪問診療・訪問看護」が42.4%、「24時間体制の訪問診療・訪問看護」が40.1%となっている。

図表2-4-5 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

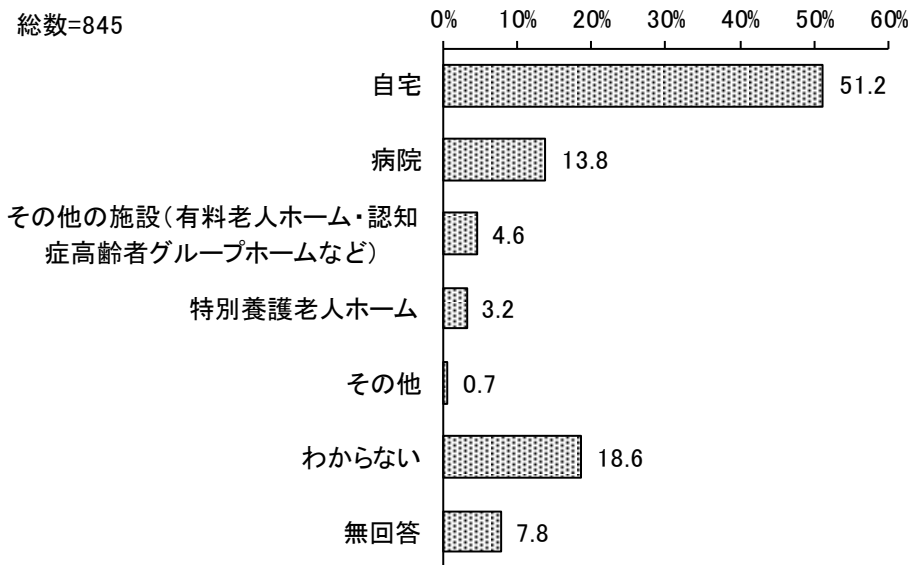


## (5) 人生の最期を迎えたい場所

問28 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」の割合が51.2%で最も高く、次いで「わからない」が18.6%、「病院」が13.8%となっている。

図表2-4-6 人生の最期を迎えたい場所



図表2-4-7 人生の最期を迎えたい場所(家族構成別)

(上段：回答数、下段：構成比)

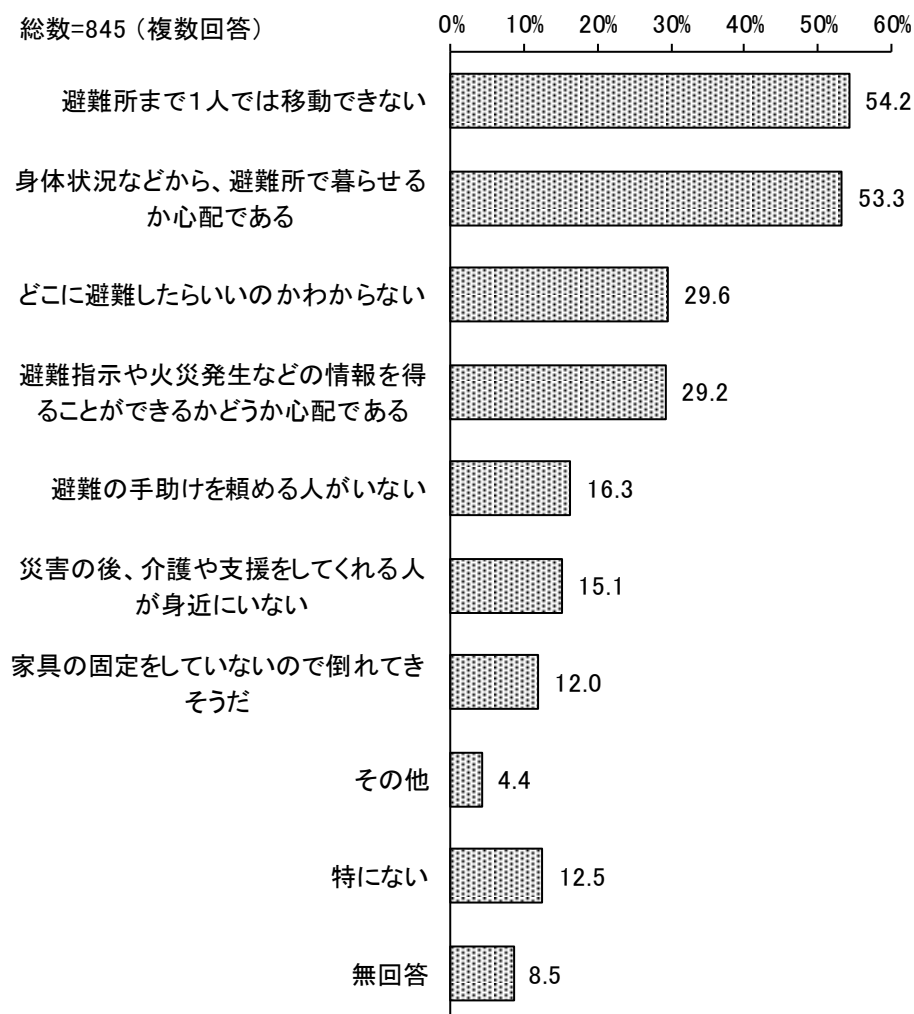
	全体	自宅	病院	特別養護老人ホーム	その他の施設(有料老人ホームなど)	その他	わからない	無回答	
									回答数
全体	845	433	117	27	39	6	157	66	
	100.0	51.2	13.8	3.2	4.6	0.7	18.6	7.8	
家族構成	ひとり暮らし	205	95	36	5	12	1	37	19
		100.0	46.3	17.6	2.4	5.9	0.5	18.0	9.3
	夫婦のみ(配偶者は65歳以上)	176	99	24	6	9	4	23	11
		100.0	56.3	13.6	3.4	5.1	2.3	13.1	6.3
	夫婦のみ(配偶者は64歳以下)	15	9	2	-	1	-	3	-
		100.0	60.0	13.3	-	6.7	-	20.0	-
	息子・娘と同居(息子・娘は65歳以上)	96	55	11	8	2	-	10	10
	100.0	57.3	11.5	8.3	2.1	-	10.4	10.4	
息子・娘と同居(息子・娘は64歳以下)	223	123	32	3	5	1	49	10	
	100.0	55.2	14.3	1.3	2.2	0.4	22.0	4.5	
その他	110	44	9	4	9	-	33	11	
	100.0	40.0	8.2	3.6	8.2	-	30.0	10.0	
無回答	20	8	3	1	1	-	2	5	
	100.0	40.0	15.0	5.0	5.0	-	10.0	25.0	

## 5 災害時の対策について

問29 災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時の対応について、不安なことはありますか。（〇はいくつでも）

緊急時に不安なことは、「避難所まで1人では移動できない」が54.2%で最も高く、次いで「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」が53.3%、「どこに避難したらいいのかわからない」が29.6%、「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」が29.2%となっている。

図表2-5-1 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと



緊急時に不安なことを家族構成別にみると、「ひとり暮らし」や「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」において、「避難の手助けを頼める人がいない」、「災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない」が、それぞれ20%を超えており、他の家族構成を大きく上回っている。

図表2-5-2 災害時や火災などの緊急時の対応で不安なこと（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	どこに避難したらいいかわからない	避難指示や火災発生などの情報を得ることができず、かどうか心配である	家具の固定をしていないので倒れそう	避難所まで1人では移動できない	避難の手助けを頼める人がいない	身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である	災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない	その他	特になし	無回答
全体		845 100.0	250 29.6	247 29.2	101 12.0	458 54.2	138 16.3	450 53.3	128 15.1	37 4.4	106 12.5	72 8.5
家族構成	ひとり暮らし	205 100.0	53 25.9	61 29.8	25 12.2	111 54.1	47 22.9	101 49.3	53 25.9	9 4.4	22 10.7	19 9.3
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	176 100.0	54 30.7	62 35.2	25 14.2	97 55.1	45 25.6	109 61.9	36 20.5	7 4.0	14 8.0	15 8.5
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	15 100.0	5 33.3	4 26.7	1 6.7	9 60.0	-	7 46.7	1 6.7	1 6.7	3 20.0	-
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	96 100.0	25 26.0	22 22.9	13 13.5	54 56.3	6 6.3	56 58.3	7 7.3	5 5.2	11 11.5	6 6.3
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	223 100.0	76 34.1	71 31.8	29 13.0	134 60.1	25 11.2	123 55.2	15 6.7	7 3.1	26 11.7	20 9.0
	その他	110 100.0	35 31.8	23 20.9	8 7.3	47 42.7	14 12.7	47 42.7	13 11.8	7 6.4	26 23.6	7 6.4
	無回答	20 100.0	2 10.0	4 20.0	-	6 30.0	1 5.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	4 20.0	5 25.0

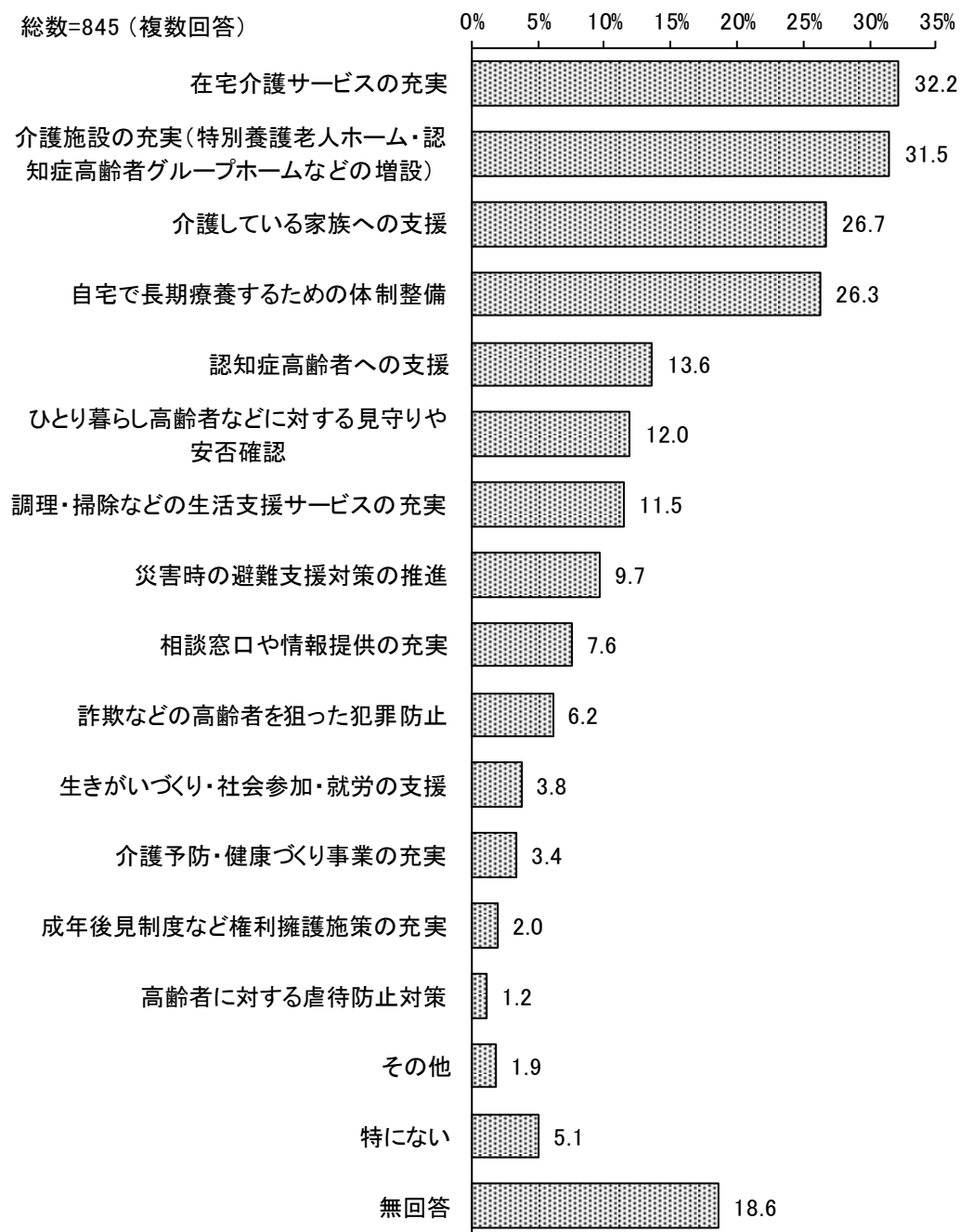


## 6 高齢者施策全般について

問30 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。（〇は3つまで）

区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「在宅介護サービスの充実」が32.2%で最も高く、次いで「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」が31.5%、「介護している家族への支援」が26.7%となっている。

図表2-6-1 区で優先的に取り組む必要があると思う高齢者施策

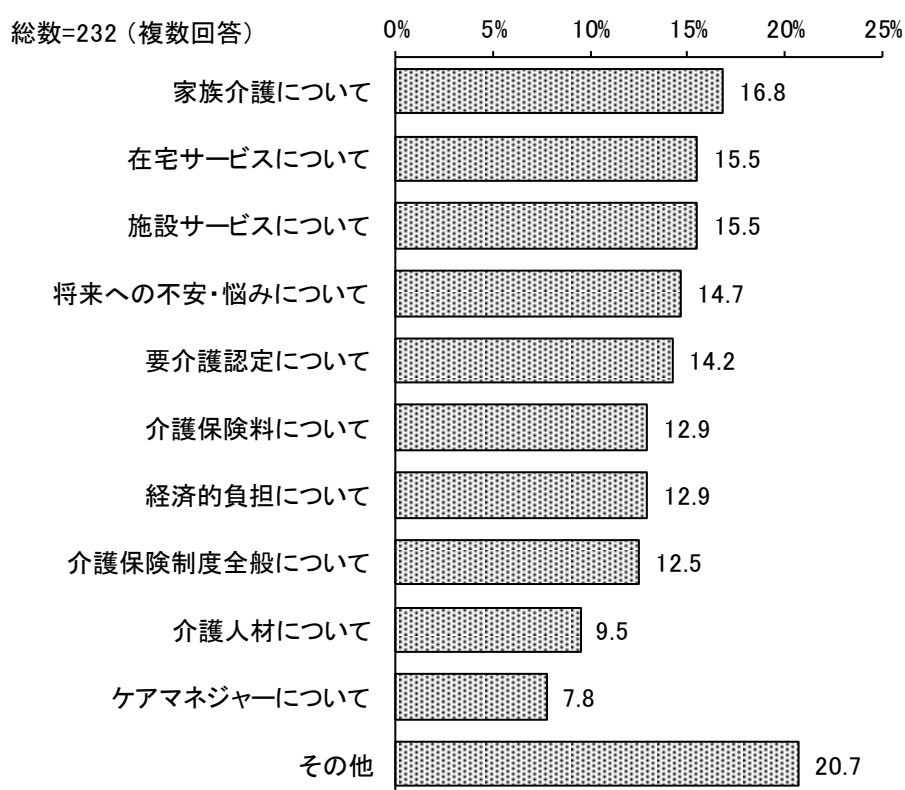


## 7 自由意見

問31 目黒区の介護保険・高齢者福祉行政に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。はじめに、1～11のあてはまる項目に○を付け（○はいくつでも）、その項目についてのご意見・ご提案をお聞かせください。

区に対する意見・提案の内容は、「家族介護について」が16.8%で最も高く、次いで「在宅サービスについて」と「施設サービスについて」が15.5%、「将来への不安・悩みについて」が14.7%となっている。

図表2-7-1 区に対するご意見・ご提案



次ページ以降では、各項目について、原文の文意が損なわれないよう抜粋して記載した。

### 介護保険制度全般について

- 老人の介護を格付けし、一律サービス内容を線引きする制度に将来性があるのでしょうか。
- 税金は弱いもののために使うべきです。福祉の視点がありません。
- 介護保険利用料金、10年前は1割負担で現在は3割負担。上昇率がとてつもなく高いと感じています。年金暮らしで支払う後期高齢者健康保険や医療費をプラスすると大変な負担になります。家族に面倒見てもらうのも、家族の方も高齢化していき共倒れになるのではないかと不安になります。
- 急に介護生活が始まった時に一番大変だったのは、書類作成やら印鑑やサインなどの区に提出する書類の事務的な処理でした。
- 夫が亡くなった後、パーキンソン病のため一人では生活できないので、自費サービスのヘルパーを数人で生活支援をしてもらっています。介護保険では、限度がありいろいろ制約があるため困っています。また、経済的にも重くのしかかってきます。介護保険でできることを増やしてほしいと思います。
- 制度に対する知識不足を感じた。制度に関するレクチャーが定期的に行われていたら聴きに行きたい。

### 介護保険料について

- 40才から介護保険料を支払い続けている。月4,000円以上とられて、風呂段差の改修をしても、それを一回使ってしまうと、あとは介護の段階がかなり進まないで使用できなくなってしまう。自分たちで貯金して自分たちが必要な時に使った方が有効的。
- 介護保険料が毎年上昇しています。少ない収入の中から支出するのが大変です。
- 介護保険料の基準はどのように決めているのですか？経済的負担、もう少し負担が減れば良いと思う。
- 所得に合わせて1万円～、2万円～から10万円～まで10段階に細かく分けてほしい。

### 要介護認定について

- もう少し早く、短い日数で認定していただきたい。
- 家族の前ではできなくても、他人の前では頑張っていてできてしまう。要介護が上がらない。
- 介護認定は公平に行われているのでしょうか。地域の医療機関にも行けない一人暮らしの老人がいたとしたら、その認定はどのように扱われるのでしょうか。
- 査定項目の明細と採点基準、結果の開示。
- 年々要介護認定の基準が厳しくなっている。
- 要介護認定の判定に疑問あり。認定の基準方法を知りたい。

## 在宅サービスについて

- スタッフの人数が少ない。もっと予算を増やして、人数が多くなれば希望者の数も増え楽しんで働けると思う。忙しくてゆとりがなく動いている。身体をこわす人もいる。夜の勤務の人数も少ないから、事故でもおきた時対処できるのか心配です。
- 週2回ヘルパーさんに来ていただいておりますが、息子との同居を理由に生活支援サービス（調理や掃除）は受けられません。実態は一人で生活をしており身の回りの事が十分にできない場合もあり困っています。弾力的な運用ができるようにしていただきたい。
- 介護者が緊急に体調不良の時、一時的に入所できる施設がないと困る。有料ならあるが、公的な所は順番待ちですぐには入れないと聞いた。有料では高額で利用できない。
- 区が実施している「紙オムツ支給事業」はとても助かっています。
- デイサービスは年輩者や認知症患者等、自宅での介護者負担軽減のため利用する方々が多い。そのため、そうしたサービス利用者へのプログラムを進めている施設が大半となり、違う目的でリハビリを必要としているプログラムが手薄になっており、結果として疾病からの回復のためのリハビリの機会を喪失させてしまっている。目的を明確にしたリハビリ施設を行政主導で指導できないだろうか。
- ショートステイ、デイサービスがどんどん閉所、廃止となっているので、何とか増やしてほしい。

## 施設サービスについて

- 区の施設数、待機人数などをもっと区報などで定期的に知らせてほしいです。
- 費用のかかる介護付き有料老人ホームに入所しましたがいつまで続けられるか不安です。
- 特養老人ホームの充実。要介護5の人間を受け入れてくれる施設が少ない事。在宅介護をしている家族もいつ体調を崩すかわからないので、希望すればすぐ入所できる体制をとってほしい。
- 入浴時、衛生面で気をつけてほしい。
- 家族での介護ができなくなった時入居できる施設が直ぐ見つかるように手助けしてほしい。あまり費用がかからないように補助してもらえると良いと思う。
- 特別養護老人ホームへの入所がとても困難です。費用の安い特養がたくさん建設されることを望みます。
- 家族介護をしている者にとって、休養は必要。ショートステイという制度をもっと利用したい。ここの支援（料金）をもう少し充実させて頂きたい。

## ケアマネジャーについて

- ケアマネから紹介される業者は必ずしも利用者の希望にそっていない。業者を自由に選択したい。
- ケアマネジャーには大変だろうがちょくちょく顔を見せてほしい。
- ケアマネジャーは場所や人によって随分対応に差がでる。個人で良いケアマネさんを探

すのは困難。どのようなケアマネさんがいるか知るの難しいでしょうか？より良い対処をすぐして下さるケアマネさんとの出会いを、事務所を決めてからでないといけないのは不安です。ケアマネバンクみたいなものをつくり、ファイナンシャルプランナーのように全般を見て下さる場所があればいいと思います。

### 介護人材について

- 全般に人手不足を感じ親の介護を任せるのに不安を感じている。数だけ規則を守ってれば良いというものではない。またベテラン職員が新人職員を温かく育てる余裕をもって業務につける様な人員配置にすれば、新人の離職も防げると思う。
- 介護人材の確保等、賃金を上げ質の向上を求める。
- 介護施設の人員の少なさ。職員の大変さを感じる。
- 介護スタッフや看護師の定着率が低いと感じています。少しでも長く働いてもらえるように、目黒区から給料加算の経済的な支援をしてもらえるとうれしいですね。

### 経済的負担について

- 介護保険の利用料が2割負担になるのは、私としては大変です
- 年金生活者にとって1割と言えども高すぎる。高額所得者からもっと負担金を支払ってもらっても良いと思います。
- 国民年金ではなかなか年を取ってからは経済的に大変だと思います。100年時代と馬鹿な事を聞きますが現実的ではないと思います。
- 入院費用がどれだけかかるか心配です。
- 現在、生活保護による生活をさせて頂いているが、月々の支給額をもう少し上げてほしいです。昨今の市場の物価上昇に追いついて行けないです。
- 負担軽減（経済的）が必要。補助金など。
- 年金収入のみの生活でサービスを最大限使うと生活費が不足してせっかくのサービスも使えない。
- 一人暮らしで年金生活しています。医療費もかかっているので、出費を出さない生活に努めたいのでサービスの充実をお願いします。
- 歩行がだんだん厳しくなって来て、タクシーを常用している。補助があれば助かる。

### 将来への不安・悩みについて

- 要介護度が重くなり一人になった時、誰に相談するか、どのような手続が必要か、支援してもらえるか不安に思う。
- ひとり暮らしになった時、何処か適当な居住先があるか不安です。
- 安心な老後を送ることができるよう総合的に介護体制を作ってもらいたい。特に経済的に負担にならないようお願いします。
- 認知症を発症し家族介護が困難になった時、すぐに対応して下さる窓口がほしい。

- 安心な老後を送ることができるよう総合的に介護体制を作ってもらいたい。

## 家族介護について

- 家族に負担をかけたくない。
- 高齢者になっても在宅療養が一番とは思いますが老々介護は無理です。
- 家族が少しでも楽になるといいと思う。
- 介護者が急に入院等で介護できなくなった時、誰に相談したら良いのか心配です。
- 介護している家族の支援を考えてほしい。老々介護においては大変な問題です。介護疲れで家族にヒビが入ってしまったら大変なことが起きると思う。区はそうした問題を防ぐために支援をしてほしい。
- 介護者が急に入院等で介護できなくなった時、誰に相談したら良いのか、一番心配です。
- 同じように老々介護で苦労している人の経験談を聞きたい。
- 母が一人で過ごす時間帯に不安があります。認知症もあるため、1人で過ごさせる時間を少なくしたいのですが、デイケアの帰宅後3～4時間1人の時間ができます。地域に夕方～夜の間、過ごせる場があると良いなと思います。
- どこまで家族がすること、行政にお願いすることの線引きの不安があります。
- 家族で老々介護になると共倒れになる可能性が高い。できる限り面倒を見てあげたいが体力が心配。

## その他

- 現在介護付き有料老人ホームに入居している。自宅を処分して入居金を支払ったが分譲マンションと違って税法上の特典がない。是非、所得税の考慮を願いたい。
- 母は介護認定5です。病院退院後区内の特養は満室。母は有料施設に入居した。入居できない区内の方がたくさんいらっしゃるはず。特養の増設とヘルパースキルアップの教育が急務であると考えます。
- 独居老人用区営住宅の新設。民間アパートでの高齢者入居はほとんど困難です。
- 介護の時間が40分では短かすぎるので、今までどおり1時間にしてほしいです。
- 介護行政について。区の地域割による限界が感じられる。周辺区（例えば、目黒区の場合、世田谷、渋谷、品川、大田区等との地域連携をゆるやかにするなど）の運営上の工夫ができないか。
- 社会参加として、又通院用としてシルバーパスの拡充を要望します。現在のシルバーパスの利用者は、その90%が1,000円の負担金の方だそうです。社会参加促進事業であるならば、1,000円と20,510円という2段階の負担額だけではなく、間を含めて段階数増やしていただきたい。
- 車椅子の借し出しは区役所だけでなく、住区センターなど利用しやすいところに多く置いてほしい。